

平成 27 年度 事業総括

平成 27 年度は、女性活躍の加速化に向け、京都においても経済団体等と行政とが連携した「オール京都」としての「輝く女性応援京都会議」が発足し、当センターも構成団体として取組むなど、男女共同参画の視点での女性の活躍を意識した 1 年でした。このように社会全体として、女性の活躍が期待される中であって、深刻化するDV被害、非正規雇用や不就労の問題等、困難な生活から抜け出せない女性たちの存在も見逃せない状況です。

そのような状況の中、当協会では昨年度に策定した「未来へのつばさ」のビジョンをもとに、基本姿勢である「支援」・「育成」・「提言」を中心に、地域と連携しながら誰もが輝ける社会を目指して事業を展開して参りました。

特に、新規事業「男女共同参画の視点を持った相談員養成講座」をはじめ、「女性の防災リーダー育成事業」や、「DV・性暴力被害者支援講座」等、地域における男女共同参画推進の担い手の育成に注力しました。

さらに、今後の協会の自律化を見据えて京都府の「女性の活躍の見える化事業」に応募し、京都市以外の受託事業を実施するなど、新たな事業展開に挑戦いたしました。

組織体制におきましては、新理事長のもと定期的に業務執行理事会を開催し、体制を強化するとともに、協会の理念を達成するために人材育成の研修に努めました。しかし、財政面では昨年度に引き続き、大きく赤字損益を出す結果となりました。次期指定管理応募に向けて確実に対応していくため、効率的・効果的な事業運営を行い、経営体質の改善を図りたいと考えています。

(公財)京都市男女共同参画推進協会

公益目的事業別体系図

公益目的事業1(定款第4条)

		頁	
1. 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供 (第1号)	(1) 図書資料の収集と提供	6	
	(2) 図書事業	① ブックフェア開催・ブックリスト発行・お話を聞く会	7
	(3) 情報発信事業	① インターネットでの情報発信	8
		② 啓発誌・講座案内の発行	9
	2. 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究 (第2号)	調査研究	① 男性の意識調査
② データブック作成と調査研究			11
3. 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援 (第3号)	(1) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業	① 男性のための生き方講座	12
		② 男性の家事・育児参画講座	13
		③ 女子学生就職前講座	14
		④ 両立支援講座	15
		⑤ ワーク・ライフ・バランス講演会	16
		⑥ 女性の活躍推進事業	17
		⑦ 父と子のパンづくり講座	18
	(2) 企業・地域への男女共同参画推進事業	① みんなで考える男女共同参画講座	19
		② ブックトーク	20
		③ 親子で楽しむコンサート	21
		④ 理系女子応援講座	22
		⑤ 女子小学生対象出前講座	23
		⑥ 女性の活躍の「見える化」事業	24
	(3) 教養・健康増進事業	運動実技講座 ① うた講座 その他教養講座	25
	(4) 保育事業	事業参加者の保育 ① 施設利用者の保育 親子のふれあい広場	26

公益目的事業2(定款第4条)

		頁	
4. 男女共同参画に関する相談 (第4号)	(1) 相談業務	① 一般相談・専門相談	27
	(2) 相談事業	① DV被害当事者のための自立支援事業	28
		② グループ相談会	29
		③ 大学相談室派遣事業	30
	(3) 関係機関連携 苦情・要望等処理制度の受付		31

公益目的事業3(定款第4条)

		頁	
5. 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進 (第5号)	(1) 地域コミュニティ活性化の促進事業	① ウイングスフォーラム	32
		② センター利用者や地域との協働事業	33
		③ ピンクリボン活動啓発事業	34
		④ 人権・男女共同参画研修(中京ふれあい人権講座)	35
	(2) ドメスティック・バイオレンス対策事業	① DV・性暴力被害者支援講座	36
		② DV予防講座	37
		③ インストラクター及びサポーター活用事業	38
		④ パープルリボンの取り組み他	39
	(3) 人材・団体育成事業	① 市民活動サポート事業	40
		② 女性の防災リーダー育成事業	41
		③ 共催・後援事業・講座受講生のグループ育成	42
		④ 相談員養成講座	43
	(4) 京都市男女共同参画センターの目的利用団体に対する施設管理業務		44

収益事業

	頁
京都市男女共同参画センターの目的利用以外への施設管理業務	46

財団運営

	頁
経営管理、組織・人事管理	47
財務運営	49

公益目的事業別体系図

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供			条項	第1号
事業名	図書資料の収集と提供			担当	事業企画課
講座名					
目的	男女共同参画推進拠点としての情報発信力の向上 ・男女共同参画に関する情報・資料の収集 ・図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,100	1,246	△ 146		

事業の計画

1. 事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する情報・資料の収集 図書資料に限らず、コミックやDVD、行政資料等により、男女共同参画に関する情報提供を行う。 ・図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施
2. 課題
利用者の拡大・既存資料の有効活用
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・別紙1-1「平成27年度 図書資料の収集と提供」参照(52p.) ・別紙1-2「平成27年度 図書情報室アンケート」参照(53p.)
4. 概要と成果
<p>男女共同参画の取組には、どのような課題があり、市民一人ひとりにどのように関わることなのかを、さまざまなテーマを設定し提示することで、資料収集、情報提供を行った。</p> <p>インターネットの利用者が26年度は466名のところ、今年度は740名まで増加しており、利用者への案内や利便性などが浸透してきている。また、19～22歳の利用者数が26年度は165名のところ、今年度は214名まで増えた。ジェンダーを考える資料としてのコミックの継続分、新規分を見直した点も関連があるのではと考えられる。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供	条項	第1号		
事業名	図書事業	担当	事業企画課		
講座名					
目的	男女共同参画推進拠点としての情報発信力の向上 ・男女共同参画に関する情報・資料の収集 ・図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	700	700	0		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ブックフェアの開催(年3回) 主催事業と関連したテーマによる図書資料等の紹介 時流に即したテーマによる図書資料等の紹介 ・ブックリストの発行 主催事業のテーマや男女共同参画に関する季節のトピックに合わせた関連資料やリストの発行 ・絵本講座や朗読講座の自主グループとの連携による絵本の読み聞かせや朗読を聞く会の開催(月1回)
2. 課題
利用者の拡大・既存資料の有効活用
3. 実績 および 4. 概要と成果
<p>【ブックフェアの開催】 男女共同参画週間「あなたは誰と、どこで働きますか？」6/1～6/30 ブック・トーク「大人のための『思春期レッスン』性のこと、きちんと知りたい、伝えたい」3/1～4/15</p> <p>【ブックリストの発行】 男女共同参画週間「あなたは誰と、どこで、働きますか？」6月発行／ピンクリボン月間「大切なひと、大切な自分のために。」9月発行／パープルリボン月間「2015ブックリスト」11月発行／ブック・トーク「大人のための『思春期レッスン』性のこと、きちんと知りたい、伝えたい」3月発行</p> <p>【ミニブックフェアの開催】 「セクシャル・マイノリティ～わたしたちの多様な性～」／「女性作家が映し出す『母娘』—文学を中心に—」／「シングルファーザーを生きる」／「男女雇用機会均等法成立から30年」／「2人の女性の物語 マーガレット・ミッチェルとスカーレット・オハラ」／「いい夫婦・いいカップルって？」／「世界の少女たちは今」／「戦争を知らない世代が描く、『戦争』」／「人権って何だろう？世界人権デー12月10日」／ 「『夫婦別姓』と『選択的夫婦別姓』」／「新しい“男”の生き方、身体から考える」／「女性の“社会進出” これまでと今」等</p> <p>【お話しを聞く会・朗読を聞く会】合計14回実施 参加者242名</p>

公益目的事業別体系図

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供		条項	第1号	
事業名	情報発信事業		担当	事業企画課	
講座名	インターネットでの情報発信				
目的	ICT(情報通信技術)及びその他ツールを利用した情報発信により、男女共同参画の促進を図る。				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,050	1,082	△ 32		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新(随時) ・メールマガジン「Wings Press」(月1回・号外) ・図書情報室ブログ「まちなかの本の森」(随時) ・Facebook(随時) ・Twitter(随時)
2. 課題
見やすく使いやすいホームページへのリニューアル
3. 実績
<p>ホームページ アクセス数448,735回、利用者数90,706人(内新規利用89,631人)</p> <p>メルマガ登録 2,010人</p> <p><別紙2>「インターネットでの情報発信」参照(56p.)</p>
4. 概要と成果
<p>ホームページについては、課題であった利用者のモバイル環境に合わせた表示システムの見直しに着手した。ホームページのアクセス解析によると、スマートフォンの検索エンジンからのアクセスは昨年より10倍に増加しており、利用者のニーズが急上昇している。デザインのリニューアルと合わせて、次年度9月末の完了を目指す。</p> <p>即時性のあるトピックスはツイッターやフェイスブックで発信し、口コミの広がりをねらうとともに、情報の詳細を確認できるホームページへとつなげた。アクセス解析によると、Facebook経由のホームページへのアクセスは1,740回で、昨年より約400回増加している。WEBを活用した情報発信については、全国女性会館協議会の主催講座で事例発表の機会を得る等、対外的な評価もあった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供		条項	第1号	
事業名	情報発信事業		担当	事業企画課	
講座名	啓発誌・講座案内の発行				
目的	男女共同参画に関する情報発信				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	2,101	2,116	△ 15		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・啓発誌「男女共同参画通信」の発行 本冊 年3回 各20,000部 別冊 年1回 10,000部 ・講座案内「ウイングスきょうと」の発行 年6回 (4.5月号) 7,500部 (それ以外) 各 8,000部
2. 課題
啓発誌「男女共同参画通信」におけるタイムリーで訴求効果のあるテーマの選定
3. 実績
<p>「京都市男女共同参画通信」の発行 本冊:年3回 A5版 カラー 4ページ 各20,000部 別冊:年1回 A5版 カラー 16ページ 10,000部 vol.40「男性セクシュアル・ハラスメント被害者への視点」8月/vol.41「配偶者から受けるモラル・ハラスメント。それは、精神的DVです」2月/vol.42「女性の活躍を推進するポジティブ・アクション」3月 別冊「新しい“男”の生き方、身体から考える。」2月</p> <p>「ウイングスきょうと」の発行 年6回 A4版 単色 4ページ 4・5月号7,500部, その他各8,000部 偶数月1日発行</p> <p>配布先 2種類とも市内各文化施設, 市内大学, 他都市関連機関等</p>
4. 概要と成果
<p>より多くの市民、事業者等に男女共同参画について理解してもらうため、身近なテーマを取り上げ、絵や数値、グラフ等を用いてわかりやすく解説する啓発冊子「男女共同参画通信」を発行した。</p> <p>本冊においては、「男性セクシュアルハラスメント被害者」「モラル・ハラスメント」「ポジティブ・アクション」、別冊においては前年度好評であった「男性と男女共同参画」をテーマに、新しい男性の生き方を身体から考える冊子を作成した。モラル・ハラスメントの切り口でDVを考察するなど、タイムリーで訴求効果のあるテーマ選定を心掛けた。また、女性の視点に偏ることなく、男性の置かれた状況を取り上げるなど、さまざまな事業で資料として活用できるテーマを中心に取り上げた。</p>

公益目的事業別体系図

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究		条項	第2号	
事業名	調査研究		担当	事業企画課	
講座名	男性の働き方調査研究事業(★20周年記念事業準備資金により実施)				
目的	男性にとっての男女共同参画を推進するために、男性の働き方について意識やニーズを掘り起こす。				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	2,000	0	2,000		

事業の計画

1. 実施内容
男性を取り巻く社会の変化や個人の意識の変化についてニーズ調査を行い、男女共同参画推進のための啓発資料を作成する。
2. 課題
サンプル数確保のための関係機関や企業への効果的な働きかけ
3. 実績及び概要と成果
有識者の意見を踏まえ調査内容充実のため協議を行い、次年度に向けて方向性を確立した。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2号		
事業名	調査研究	担当	事業企画課		
講座名	データブック作成と調査研究				
目的	京都市の男女共同参画の現状を市民に提供することや、男女共同参画をテーマに調査分析を行うことで、男女共同参画を促進させる。				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,020	626	394		

事業の計画

1. 実施内容
「京都市男女共同参画データブック」の作成と少女・女性の視点で社会問題の解決を目指す国際的な取組みを主とする情報発信
2. 課題
男女共同参画に関連する最新データの把握と効果的な活用。 海外NPOとの連携
3. 実績 平成27年度版／発行部数 2500部 / Girls20 summit Report10,000部
①平成26年度版 京都市男女共同参画データブック 発行 「みんなで考える男女共同参画講座」・関連事業での配布1,500部、館内配布 500部 他 1. 男女共同参画に関する意識 2. 男女共同参画の現状 3. ワーク・ライフ・バランスの推進 4. 女性に対する暴力 5. 京都市男女共同参画推進条例 6. 女性の人権・男女共同参画に関する国内外の動き 7. 京都市男女共同参画センター ウィングス京都の紹介 8. 「みんなで考える男女共同参画講座」の紹介 ② Girls20 summit Report発行 全国の女性センター、京都府下の大学・図書館等に配布。 大学生キャリアデザインセミナーにて配布。
4. 概要と成果
男女共同参画に関連する政府公表資料、京都市が発行した行政資料をもとに、男女共同参画データブックを作成した。今年度は、各データを更新し、グラフの色分け等について見やすく改善した。また、これまでの配布実績から発行部数の見直しを行った。 G20サミットに合わせて世界中から少女・女性が集まり、経済問題の解決を目指す「Girls20 summit」の取組みを当協会から幅広く発信することで、国際的なジェンダーの課題と動向、それを解決しようとする世界中の少女の姿を伝え、男女平等に関する啓発を行った。

公益目的事業別体系図

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業			担当	事業企画課
講座名	男性のための生き方講座				
目的	男性の生きづらさに関連するジェンダーを男性自身の言葉と行動で見つめ直す。				
対象	18歳以上の男性				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	320	△ 20		

事業の計画

1. 実施内容
<p>様々な年代の男性を対象に、文学・映画・音楽などを通して男性のこれまでの生き方(価値観)を問い直し、男らしさに捉われない生き方の実現について考える。(全2回)</p>
2. 課題
魅力的なテーマ選択と効果的な周知
3. 実績 回数(1) 定員(50) 応募者数(81) 参加人数(54) 定員充足率(108%)
<p>「Storytellers (物語る人) キャリアの先にある故郷」 【日時】1月13日水曜日 19:00~20:30 【講師】辻井隆行(パタゴニア日本支社代表)/聞き手:徳山 拓一</p>
4. 概要と成果
<p>環境問題の解決を理念に掲げるパタゴニア(アウトドアウェアの製造/販売)の日本支社社長辻井氏を講師に迎え、オトコらしさにとらわれない生き方を学んだ。 “物語る人”である辻井氏は、環境問題の解決には社会変容と対話が必要と考え、ジェンダーについての考え方の隔たりも対話が必要だと述べた。それらはジェンダーについて興味・関心の薄い人々にも問題提起を促し、アンケートでは参加者が男女平等についてしっかりと考え、意見を持てたことが分かる結果となった。男性が男女平等の担い手であることを見える化した事業となった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業		担当	事業企画課	
講座名	男性の家事・育児参画講座				
目的	男性が家庭や地域に戸惑うことなく参画し、ワーク・ライフ・バランスを維持するための支援				
対象	未就学児を子育て中の父親				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	330	154	176		

事業の計画

1. 実施内容
・子育て世代の男性対象 育児参加の必要性とワーク・ライフ・バランスについての講義と、ワークショップによる自分の現在の生活を理解し、改善する方法を考える。
2. 課題
男女共同参画に関心の低い男性の集客とグループ化
3. 実績 回数(2) 定員(30) 応募者数(13) 参加延べ人数(12) 定員充足率(20%) * 未就学児の父親対象であったが、応募が少ないため、中学生の父親まで拡大した。
「Papaカレッジ 家族の笑顔をつくる 家事シェアを知ろう」全2回 ①平成27年11月15日(日)「妻とシェアする家事と子育て」 ②平成27年12月6日(日)「家族のライフプラン」 講師: NPO法人tadaima!代表 三木智有
4. 概要と成果
子育て中の男性を対象に家事参画を促す講座を実施した。妻と家事を効率的にシェアする方法や、年間を通した家事を見直すことを2回に分けて学んだ。全体を通して性別役割分担意識への気づきと、コミュニケーションの大切さを実感できる内容となった。 日本の子育ての現状を知ること、妻の孤独な子育てに気づくこと、この時期には特にコミュニケーションが大切であること、妻も夫も性別役割分担意識に影響されていること等について学んだ。 子育てに関する話は男性同士で話す機会も少なく、不安や悩み、グチ等を同じ立場で話し合える場は、男性自身をエンパワーメントする場でもあることを感じた。 男女共同参画の視点、受講生の満足度の高さから、講師は適任であった。ただし、受講者数が非常に少なく、対象・参加形式・広報等の見直しが必要である。

公益目的事業別体系図

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業		担当	事業企画課	
講座名	女子学生就職前講座				
目的	就活前の時期に、社会の現状を知り、ジェンダーの気づきを得ることで、社会的・経済的に自立できるライフプランを立てる。				
対象	京都市内在住・在学の女子学生				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	250	105	145		

事業の計画

1. 実施内容
<p>自分に合った仕事と出会い、「働く/働き続ける」将来像を描くための情報提供(講義)とロールモデルトークを含むライフ・デザイン(180分×3回)</p>
2. 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携による効果的な広報 ・プログラムの見直し(H26は全2回(120分×2)で実施)
3. 実績 回数(2) 定員(20) 応募者数(22) 参加者数延(31) 定員充足率(78%)
<p>「就活成功へのガールズセミナー2015」</p> <p>①「目からウロコ! 大学では教わらない女子学生のための就活テクニック」</p> <p>②「ライフキャリアを描くGirl's Café ～ロールモデルを囲んでリアルトーク～」</p> <p>【日時】①6月14日 ②6月21日 日曜日 13:00～16:00 全2回 (180分×2)</p> <p>【講師】野津 卓也 【ゲスト(2回目)】今富 和加奈, 前江田 有香</p>
4. 概要と成果
<p>これから就職活動を始めようとする女子学生を対象に、全2回のセミナーを実施した。セミナーでは、就職・仕事・家庭に関する調査資料による具体的な数字と事例、あるいはロールモデルの体験談などを通して自身の身近な問題として捉えていくことを学んだ。目前にある就活をクリアするだけでなく、長期的な見通しを持って社会と自分の価値の交換ができる就職をし、更には、キャリアを分断しない生き方を選択することが必要である事等を、参加者に十分伝えることができた。また、仕事と家庭(育児)を両立しているロールモデルに直接質問したり、参加者同士で意見交換を行うことで、その効果がより高まった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業		担当者	事業企画課 市原	
講座名	両立支援事業				
目的	育児と仕事が両立できる就業継続支援を行う。				
対象	育児休業を取得中、取得予定、取得後3年以内の方				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	500	262	238		

事業の計画

1. 実施内容
<p>連続講座 全5回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション(スキル習得) ・マネー&ライフプラン(モチベーション向上) ・保育所入所及び育児支援(情報提供) ・ロールモデルトーク(つながり) ・親子ヨガ(アフター会)
2. 課題
連続講座の利点を活かせる構成
3. 実績 回数(1) 定員(30) 応募者数(34) 参加人数(29) 定員充足率(96%)
<p>「働くママの不安を元気に！ リーママランチ交流会」</p> <p>【日時】9月26日土曜日 11:30~13:30</p> <p>【講師】博報堂リーママプロジェクトメンバー (高橋志保/田中和子/武藤有子/森真奈)</p>
4. 概要と成果
<p>育児休業取得中、取得前後の働く女性を対象に、仕事と育児の両立に不安を解消するためのランチ会を実施した。働くママの前に立ちほだかる具体的な課題(復帰の壁/小1の壁)について話し合い、ママ同士の出会いと気づきによって課題の乗り越え方を共有した。また、両立に関する問題がジェンダーに関連する社会的課題である講義を行い、ママ達が一人で頑張るのではなく、その想いを社会に発信する意義を感じる機会提供とした。先輩ママたちが不安を乗り越える糧(かて)となった“糧コトバ”を受講生同士で共有し、一番心に残った言葉を選んで発表し合い、モチベーション向上につなげた。</p>

公益目的事業別体系図

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業			担当	事業企画課
講座名	ワーク・ライフ・バランス講演会				
目的	仕事と家庭の調和を図り、自分らしい生き方を提案する。				
対象	一般市民				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	720	646	74		

事業の計画

1. 実施内容
講演会(イベントホール)の実施(全1回)
2. 課題
男女共同参画の視点での内容設定と集客に向けた広報先の獲得
3. 実績 回数(1) 定員(240) 応募者数(285) 参加者数(196) 定員充足率(82%)
「コウケンテツ講演会 食を通して家族コミュニケーション ～人が幸せになるワーク・ライフ・バランス～」 【日時】1月30日 土曜日 14:00～15:30 【講師】コウケンテツ(料理研究家)
4. 概要と成果
料理を職業に選んだ講師が、妻と仕事と家事をどのようにシェアしているのかを、出産・育児にまつわるエピソードを交えて講演を行った。またGGI(ジェンダーギャップ指数)等の統計資料も、自身が各国を訪問して得た実感を伴って紹介され、説得力があった。いろいろな世代の方に、ワーク・ライフ・バランスを考えてもらえる内容となった。 アンケートでは「楽しく聞いた」という声が多く、またそれに加えて「食」「家族」「育児」等、聞く人それぞれの切り口で響くところがあった、との感想が寄せられた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業			担当	事業企画課
講座名	女性の活躍推進事業(★20周年記念事業準備資金により実施)				
目的	経済団体やメディアと協働し、働く女性と企業の経営者や人事関係者を対象に、男女平等の視点を持った女性の活躍推進を形づくる。				
対象	働く女性・企業経営者・管理職・人事関係者等				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,700	1,925	△ 225		

事業の計画

1. 実施内容
<p>全3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営者、人事関係者対象 シンポジウム ・中小企業で働く女性対象スキルアップ講座 ・働く女性対象 ネットワーク構築セミナー(イベントホール)
2. 課題
協働先の確保、独自性のある事業内容の実施
3. 実績
<p>①企業が取り組む人材戦略！女性活躍推進セミナー 定員(50) 応募者数(55) 参加人数(55) 定員充足率(110%) 【日時】6月10日水曜日 13:00～17:00 【講師】近藤宣之(株式会社日本レーザー代表取締役社長) 植田寿乃氏(キャリアコンサルタント)※京都商工会議所、京都府中小企業団体中央会後援事業</p> <p>②働く女性のビジネスセミナー 経済センスと感性で紡ぐ仕事力 定員(150) 応募者数(184) 参加人数(161) 定員充足率(107%) 【講師】木村恭子(日本経済新聞社) 大草直子(ファッションエディター)山崎大祐(株会社マザーハウス取締役副社長) ※日本経済新聞社大阪本社協力事業</p>
4. 概要と成果
<p>中小企業を中心に女性の活躍に関するセミナーを2回実施した。経営者・人事関係者を対象としたセミナーでは、経済団体の後援を得て実施。前半には中小企業の代表取締役として長年、女性活躍・ダイバーシティを実践している近藤氏の講演を行った。従業員の意識改革を促す方法、女性活躍が確実に経営効果につながる点等の話しは具体的で好評であった。後半は、女性活躍の企業コンサルティング第一人者である植田氏を迎え、参加者のワークショップを交えて女性の働き方について改善策を話し合った。</p> <p>日本経済新聞社の協力事業として実施したビジネスセミナーでは、経済センスと感性を磨くことで仕事力を高めるビジネスセミナーを実施した。受講生にはテキストとして新聞を配布し、経済ニュースの読み方を指南した。受講満足度は高く、受講生がキャリアの目標を定める支援が行えた。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第5号
事業名	真のワーク・ライフ・バランス推進事業			担当	事業企画課
講座名	父と子のパンづくり講座				
目的	子どもとのパン作りを通して父親が家事や育児の楽しさに気づき、積極的に家庭に参画することを目的とする。				
対象	父親と小学生				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	87	87	0		

事業の計画

1. 実施内容

父親と子どもで協力してパン&ランチ作りに挑戦し、家事デビューを目指す。子どもとの共同作業を通して、男性が家庭に参画することの大切さに気づき、自分らしいワーク・ライフ・バランスについて考える機会とする。

2. 課題

ジェンダーや家事シェアする時に大切なことに気づくための効果的なワークの実施

3. 実績 定員(10組24名) 応募者数(51組124名) 参加者数(12組24名) 定員充足率(100%)

「夏休み☆キッチンデビュー！父と子のパンづくり講座」

【日時】7月25日(土)10:00~13:30

【講師】寺田玲子(粉屋アカピーノ主宰)

【場所】調理コーナー

【対象】父親と小学生

共催:全国女性会館協議会・日本テトラパック(株)

4. 概要と成果

働く母親を応援する、男性・子どもの生活自立支援事業として、全国女性会館協議会・日本テトラパック(株)の助成金を得て、パンづくりを通して家事自立を学ぶ講座を実施した。調理を通し「作業の流れと手順を知る」「できること、できないことを考えて役割を分担する」「家庭独自のルールを確認する」という3つのステップを体験し、家族で家事をシェアするためのコツが伝わるよう工夫した。試食タイムには、グループごとに「我が家のお茶碗の片づけ方」をテーマに話し合い、子どもとの関わり方、家庭での役割をどう担うかについて考える機会を提供した。参加者の満足度も高く、後日実施したパートナーへの聞き取り調査では、「楽しそうに講座のことを報告してくれた」「少しずつではあるが、子どもと一緒に家事を手伝うようになった」という報告があった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	担当	事業企画課		
講座名	みんなで考える男女共同参画講座				
目的	男女共同参画についての基礎知識を学ぶ機会として、一般、企業、学校教職員、PTA等の団体を対象に、男女共同参画に関する基礎用語や事象の解説などを行う講座を実施するとともに、男女共同参画の課題解決に向けた学習支援を行う。				
対象	一般市民・企業・教職員・団体				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	420	231	189		

事業の計画

1. 実施内容
<p>【定期開催】市民向け基礎講座(月1回、月ごとにテーマを設定し、ウイングス京都にて実施)</p> <p>【出前講座】企業・教職員・団体向け基礎講座(希望に応じてテーマ・会場を選定)</p> <p><講座テーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画基礎講座 ・ 男女平等教育推進について ・ 子育て世代の男女共同参画 ・ DV・デートDV ・ セクシュアルハラスメント ・ 働くあなたのワーク・ライフ・バランス ・ 防災と男女共同参画
2. 課題
対象に応じたプログラムづくりと学習支援の充実
3. 実績
<p>今年度は年間38回の講座を実施。677人の参加があり、前年度(年間48回 1245人)よりも、受講者数が減少した。その他、出前とは別に、27件の学習相談に応じた。</p> <p><別紙3>「平成27年度『みんなで考える男女共同参画講座』年間利用数」参照(57p.)</p>
4. 概要と成果
<p>男女共同参画に関する国内外の動きやデータを確認し、男女共同参画社会の実現に向けた学びの場を提供した。今年度は、各テーマの内容を見直し、男女平等教育編にLGBTの項目を加えた他、「セクシュアルハラスメント」「防災と男女共同参画」「子育て世代の男女共同参画」等で活用できるデータやワークシートを追加し、好評を得た。</p> <p>出前先については、区役所や行政評価事務所、学校保健会、教育委員会等の男女共同参画の課題を共有できる組織から対象に合わせた有償依頼があった。また、小学校からは次年度に向けて、ステップアップした内容の依頼があり、継続した取り組みにつながっている。回数減少の理由としては、DV関連の依頼が別予算になったこと、100名を超える団体からの依頼の減少、夏期合同講座の日程が教育委員会の研修日と重なったこと等がある。</p>

公益目的事業別体系図

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業			担当	事業企画課
講座名	ブック・トーク				
目的	話題作の著者を招きブックトークを実施することにより、男女共同参画の啓発を行う。				
対象	18歳以上				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	290	163	127		

事業の計画

1. 実施内容
<p>文学賞受賞者など話題作の著者を招いてのブック・トーク。既存の利用者以外の集客も期待でき、またトークは男女共同参画の視点を切り口にすることで新鮮な読み方を提供することが出来る。作家とのパイプを持ち、ブック・トークのノウハウのある書店とタイアップする。</p>
2. 課題
協働先との目的の共有
3. 実績 回数(1)定員(50) 応募者数(57) 参加延数(44) 定員充足率(88%)
<p>【日時】3月13日(日)13:30~15:30 「ブック・トーク 大人のための『思春期レッスン』 性のこと、きちんと知りたい、伝えたい」 【講師】染矢明日香(NPO法人ピルコン理事長)</p>
4. 概要と成果
<p>図書情報室で所蔵する「マンガでわかる オトコの心の『性』 思春期男子へ13のレッスン」の著者を招き、講義とグループトークを行った。身近に思春期の男の子がいる大人が対象で、大人が正しい性の知識を身付け、性に対するポジティブな姿勢を獲得すること、そしてそこから子どもたちの「性」をめぐる悩み、問題を共有することが重要であるということを学んだ。</p> <p>今回、講師が新聞やTVの情報番組などで度々取り上げられ、話題性もあったことと、これまで取り組めていなかった「性教育」をテーマにした企画内容であったことが、集客につながった。参加者の約3分の1がウイングス京都を初めて利用されるなど、新たな層とそのニーズの掘り起こしができた講座であった。また配布したブックリストにより情報発信地としての広報も兼ねることができた。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業		担当	事業企画課	
講座名	親子で楽しむコンサート				
目的	子育て世代をサポートすることで、地域における身近な男女共同参画を推進する。また、親と子どもたちが芸術に親しむことで、子どもの健全な育ちに貢献する。				
対象	乳幼児から小学生までの子どもとその親				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	475	439	36		

事業の計画

1. 実施内容
京都市立芸術大学と連携し、親子で楽しめる文化芸術体験事業を開催する。
2. 課題
他の親子コンサートとの差別化
3. 実績 回数(1) 定員(240) 応募者数・参加者数(226) 定員充足率(94%)
「親子で楽しむコンサート」 【日時】3月5日 土曜日 14:00～16:00 【演奏】京都市立芸術大学音楽学部生 【プログラム】(第1部)クラッピング・ミュージック(作曲*S.ライヒ),「展覧会の絵」より プロムナード(作曲*ムソルグスキー), カノン(作曲*パッヘルベル), 草競馬(作曲*フォスター),「もののけ姫」よりアシタカとサン(作曲*久石 譲), 夕焼け小焼け(作曲*草川 信), 赤とんぼ(作曲*山田 耕筰), 犬のおまわりさん(作曲*大中 恩) (第2部)食卓の音楽(作曲*M.メンケ),「アナと雪の女王」より Let it Go(作曲*C.A.ロペス&R.ロペス), となりのトトロメドレー(編曲*高橋 宏樹), ハウルの動く城メドレー(編曲*高橋 宏樹), 新クラヴサン組曲より「未開人」(作曲*J.P.ラモー), カバレリア・スルティカーナより「間奏曲」(作曲*J.マスネ), 亜麻色の髪の乙女(作曲*C.ドビュッシー),「空想・おもちゃ・夢」1.古いパニョレッタ, 2.休息, 3.話してダフネ, 4.おもちゃ, 5.夢, 6.新しいサ・フー(作曲*G.ファーナビー), アンパンマンメドレー
4. 概要と成果
「親子で楽しむコンサート」は、子育て世代をサポートする事業の一環として毎年開催してきたものである。今年度も京都市立芸術大学と連携し、金管五重奏と打楽器アンサンブルによるクラシックコンサートを実施した。男女共同参画の啓発として、司会の開演挨拶の中に金子みすゞの詩「わたしと小鳥と鈴と」の朗読を加えた。また、ひとり親家庭支援として市内の母子生活支援施設への招待チケットを用意した。プログラムは1部・2部で構成し、どちらも金管と打楽器が交互に演奏するスタイルで進めた。クラシックナンバーをメインにしつつ、アニメ映画の音楽や童謡など子どもにもなじみ深い曲も登場し、大人は本格的な演奏を堪能し、子どもは必要以上に「静かにさせられる」ことなく楽しむことができた。

公益目的事業別体系図

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業		担当	事業企画課	
講座名	理系女子応援セミナー				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが理科ならびに科学への興味を持つきっかけづくりを行う。 ・子どもの興味関心や進路選択に影響を与える保護者の理科ならびに科学への関心を促すとともに、内包するジェンダーの問題への気づきを促す。 				
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女子小学生とその保護者 ・ 女子高生 				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	810	854	△ 44		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・女子小学生とその保護者対象 6～9月実施(全4回)／協力:「科学クラブ26」 ・女子高生対象 8月(1回)／協力:「NPO法人 子供達と最先端科学技術の架け橋」
2. 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点をふまえた保護者へのアプローチ ・協働団体とのジェンダーの視点の共有とプログラムへの反映
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・女子小学生とその保護者対象 回数(4)定員(30組)応募者数(79組)参加延数(120)定員充足率(100%) ・女子高生対象 回数(1)定員(30)応募者数(29)参加延数(24)定員充足率(80%)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女子小学生とその保護者対象 「未来のリケジョを応援！理科をもっと好きになる楽しい実験教室！！」全4回 ①6月13日(土) 三葉虫を調べよう～三葉虫ハカセになろう～ 講師:大野照文 ②7月11日(土) 冷たい世界を探ろう～液体チツソやドライアイスで物はどう変化するでしょう？～講師:工藤博幸 ③8月8日(土) 聴診器を作ろう～からだの音を聞いてみよう～ 講師:市田千尋・市田幸子 ④9月5日(土) 生きもののかたちから学ぼう／南極のおはなし 講師:坂東忠司 ・ 女子高生対象 「女子高生のフューチャーフォーラム ～幸せリケジョに会う！話す！～」全1回 8月30日(日)13:30～17:00 講師:協賛企業女子職員5名
4. 概要と成果
<p>今年度は対象別に2つの講座を実施した。小学生とその保護者を対象にした連続講座では生物や化学、生命科学等からテーマを選び、興味の範囲を広げた。特に初日は会場を京都大学総合博物館に移し、本物の化石を見て触れ、普段できない体験学習を盛り込むなど工夫を凝らした。そのため参加者の満足度は非常に高かった。</p> <p>女子高生対象講座では、理系企業で活躍する女性達の話聞き、グループワークを行った。ロールモデルとのディスカッションを通して、働くことのイメージや今後の目標につながるなど前向きな意見が多かった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	担当	事業企画課		
講座名	女子小学生対象出前講座				
目的	主として女子小学生とその保護者を対象に、自分のからだの成長や、自分の中にあるちからについて正しく認識し、実感する講座を実施することで、自分への信頼感を育てる。				
対象	女子小学生とその保護者				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	210	82	128		

事業の計画

1. 実施内容
<p>ウイングス京都または地域の小学校等を会場に、女兒とその保護者が自分のからだを大切にすることや性被害等から身を守る方法について学べるプログラムを実施する。 (ツボミスクールや護身術のプログラムを実施) ※ ツボミスクールは、ワコールが提供している子どもとその保護者を対象とした下着教室</p>
2. 課題
プログラムの周知方法とマッチングの工夫。
3. 実績 回数(2) 定員(20) 応募者数(28) 参加者数(26 のべ32) 定員充足率(80%)
<p>【事業名】「子どもの心とからだを守る～おとながつくる、子どもの安心・安全～」 【日時】2月19日・26日 金曜日 10:00～12:00 全2回 【対象】小学生の保護者 ① 2/19「子どものくらしの安心・安全を守る」 子どもの人権の基礎知識と子どもが自分を守る力を発揮するための環境づくり 講師:CAPセンター・JAPAN スタッフ ② 2/26「思春期の入り口の心とからだと性を守る」 思春期の入り口の子ども状況や、性被害の予防・早期発見の適切なサポート 講師:ウィメンズセンター大阪 スタッフ ※女子のみを対象とした場合、小学校の協力が得られなかったことから、当初の計画と実施内容を変更した。</p>
4. 概要と成果
<p>子どもが「自分を守る力」を発揮するために、いじめや虐待、性被害を防ぐために家庭や地域で大人が実践できる具体的なサポートを「子どもの人権とくらしの安心・安全」「心とからだの基礎知識と性暴力」の2つの視点から学んだ。講座の満足度・理解度とも100%と非常に高く、地域でも研修の機会が欲しいという声もあった。広報協力を得た小学校に、次年度のPTAの取り組みにつながるよう働きかけていきたい。</p>

公益目的事業別体系図

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・地域への男女共同参画推進事業	担当	事業企画課		
講座名	女性の活躍の「見える化」事業				
目的	京都企業における女性の活躍を、他の企業や学生等の府民に広く「見える化」することで女性の活躍の加速化を図る。				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	2,902	2,902	0		

事業の計画

1. 実施内容
①女性活躍企業管理職講師による大学生キャリアデザインセミナー 10回 ②女性の活躍シンポジウム(基調講演+パネルディスカッション) 1回
2. 課題
①各大学のニーズにあった講師選定 ②企業規模・業種を越えた女性活躍のあり方を学ぶプログラム構成
3. 実績 ①回数(11) 参加者のべ数(846) ②回数(1) 定員(200) 応募者数(155) 定員充足率(77%)
①京都府下の大学9校とコンソーシアム京都と連携し11回のキャリアデザインセミナーを実施した。 平成27年6月～平成28年2月 京都府立大学・同志社大学・京都橘大学・立命館大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・京都大学・龍谷大学(深草、伏見キャンパス)・産業大学・コンソーシアム京都 ②女性の活躍シンポジウム 2/27(土)13:00～16:00 基調講演:アエラ編集長 浜田敬子氏『社会を動かす働く女性1000人の姿』 パネルディスカッション:株式会社ロマンライフ/株式会社堀場製作所/オムロン株式会社より、経営者と女性職員の立場から各1名。
4. 概要と成果
京都府の「女性の活躍の『見える化』事業」を受託事業。大学生のキャリアデザインセミナーでは、各大学と協議を重ね、ニーズに沿った講師を配置することが出来た。今、京都で活躍する女性が様々な課題を乗り越え、ジェンダーに捉われない働き方を実現していることを学生たちが実感するロールモデルトークを実施した。アンケートからは参加したほとんどの女子学生が仕事と家庭の両立というキャリアデザインを前向きに捉えたことがわかった。また、シンポジウムでは大企業と中小企業から経営者層と女性職員が同じパネラーとして意見を述べるプログラムを実施した。企業規模・業種・役職により異なる課題と目標を各社の登壇者が本音で話すことで、女性活躍に関して本気で取り組んでいる企業と人々の声で、地域社会が動いていることを具体的に示すこれまでにないかたちのパネルディスカッションとなった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	教養・健康増進事業		担当	事業企画課	
講座名	運動実技講座・うた講座・その他教養講座				
目的	生涯にわたる健康と生きがいを維持できるよう市民ニーズに応えたさまざまなプログラムで、幅広い年代を対象とした講座を開催する。				
対象	一般市民				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	12,500	12,743	△ 243		

事業の計画

1. 実施内容

- ①フィットネス講座(10コース×3期=30コース)
 楽しいフラダンス/いきいきフラダンス/
 バランシングヨガ/リズムウォーク&ボールエクササイズ/
 パワーヨガ/気功/骨盤ヨガ/ゆったりヨガ/ピラティス夜Reset/ピラティス朝Flow
- ②うた講座(4コース×3期=12コース)
 楽しいコーラス/歌う! ジャズ&ミュージカル/楽しい! ゴスペル&ポップス/
 心やわらぐ愛唱歌を歌う
- ③歌声喫茶(年15回・拡大版、フォーク版の実施を含む)
- ④フィットチョイス(ヨガ・ピラティス・タヒチアン&フラ・ベリーダンスの4種類×3回 全12回)
- ⑤朗読講座(1クラス×2期)
- ⑥うたかたライブ(年3回)

2. 課題

内容・価格共に民間と競合する中、顧客ニーズをつかみ受講者の満足度を上げる。また、それにより受講者を確保する。

3. 実績

- <別紙4-1>「運動実技講座」参照(58p.-60p.)
- <別紙4-2>「歌講座」参照(61p.-62p.)
- <別紙4-3>「朗読講座」(63p.)

4. 概要と成果

- ①フィットネス講座(10コース×3期=30コース) どの講座も安定した受講者数を保っている。
- ②うた講座(4コース×3期=12コース) どの講座も安定した受講生数を保っている。継続の受講生が多く、新規が少ないため、次年度は広報も工夫したい。ビジター(1回お試し参加)から本講座を受講する方が多いことから、ビジター制は効果がある。
- ③歌声喫茶(年15回・拡大版、フォーク版の実施を含む) 毎回定員を上回る応募があり、安定した参加者数を保っている。常連だけの参加にならないように広報もまめに行っていく。
- ④フィットチョイス(新) 土曜の夜に4種類の運動を好きな日に受講できるように設定し、新たな受講者を獲得することができた。講座の満足度も高く、終了後も問い合わせがあるなど好評であったが、チケット販売・受付業務が煩雑であったため、春期のみの実施となった。
- ⑤朗読講座 からだほぐしのストレッチを重視し、最終回の発表会では群読を取り入れるなどの特色を打ち出し、内容・講師を一新した前年度に引き続き実施した。前・後期の開催で、大半は継続して受講している。定員充足率は60%と振るわないが、徐々に定着しつつあると考えてよい。
- ⑥うたかたライブ 朗読講座講師を中心としたグループによる歌と語りのライブを行った。開催を心待ちにしている参加者も多く、今後も可能な限り実施を続けたい人気事業である。

公益目的事業別体系図

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	保育事業			担当	事業企画課
講座名	事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場				
目的	講座保育・一時保育と親子同士がふれあう事業をNPOとの協働で行い、子育て中でも安心して学習や研修に参加、あるいは相談室利用ができる環境を提供する。				
対象	未就学児を有する施設利用者				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,800	1,363	437		

事業の計画

<p>1. 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業参加者の保育／施設利用者の保育 6か月以上就学前までの保育を、保育グループマザーグースに委託して行う。 ・親子のふれあい広場 親子で参加するふれあい広場を、マザーグースに委託して行う。また、他の子育てに関連するグループとも連携していく。
<p>2. 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育利用者(保育料収入)の確保 ・男女共同参画の視点を持った保育スタッフの確保
<p>3. 実績</p> <p><別紙5>「保育事業」参照(64p.)</p>
<p>4. 概要と成果</p> <p>【主催事業受講者の保育】(対象年齢:6箇月以上就学前) 京都市からの受託事業及び自主事業受講者に対し保育を実施した。</p> <p>【施設利用者の保育】(対象年齢:6箇月以上就学前) 貸会場・図書情報室・相談室など、京都市男女共同参画センター利用者に対し、保育を実施した。</p> <p>【子どもの部屋 ふれあい広場】(対象:乳幼児と保護者) 周囲に子育ての仲間や相談する親がいないために孤立した子育てをしがちな母親を主な対象者とし、仲間との出会いの場や保育担当者との交流の場ともなる「ふれあい広場」を実施した。 毎月1回、保育担当者とのミーティングを持ち、日常の保育やふれあい広場の運営をサポートした。また、今年度保育グループが市民活動サポート事業に応募し、新規メンバーの募集とリーダー養成講座を実施するにあたっては、講座組み立てのアドバイスをを行うなどのバックアップを行った。</p>

公益2					(単位:千円)
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談業務	担当	事業企画課		
講座名	一般相談・専門相談				
目的	男女共同参画に関わる市民の多様な相談ニーズに対応し、相談者自身が悩みの背景を認識し、自己を肯定して問題解決を図っていけるようサポートする。				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	14,365	17,148	△ 2,783		

事業の計画

1. 実施内容																								
<ul style="list-style-type: none"> ・一般相談(女性のみ)／電話・面接 ・専門相談(女性への暴力相談・法律相談・男性のための相談) ・男性のためのDV電話相談 																								
2. 課題																								
<ul style="list-style-type: none"> ・面接・電話相談の体制強化 ・男女共同参画の視点を持った相談員の育成 ・DVに悩む男性のための電話相談の専門性の強化 																								
3. 実績																								
①一般相談(電話・面接)②専門相談(女性への暴力相談・法律相談・男性のための相談・男性のためのDV電話相談)③相談室利用者アンケート<別紙6>参照																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度(件数)</th> <th>26年度(件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般電話</td> <td>986</td> <td>511</td> </tr> <tr> <td>一般面接</td> <td>1,239</td> <td>1,218</td> </tr> <tr> <td>男性のためのDV電話相談</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>法律相談</td> <td>68</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>男性のための相談</td> <td>99</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>女性への暴力相談</td> <td>193</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,613</td> <td>2,119</td> </tr> </tbody> </table>		27年度(件数)	26年度(件数)	一般電話	986	511	一般面接	1,239	1,218	男性のためのDV電話相談	28	28	法律相談	68	52	男性のための相談	99	103	女性への暴力相談	193	207	合計	2,613	2,119
	27年度(件数)	26年度(件数)																						
一般電話	986	511																						
一般面接	1,239	1,218																						
男性のためのDV電話相談	28	28																						
法律相談	68	52																						
男性のための相談	99	103																						
女性への暴力相談	193	207																						
合計	2,613	2,119																						
4. 概要と成果																								
<p>昨年度に2名の欠員が出た為3名の相談員の新規採用を行った。また相談員の勤務時間を充実させるなど体制の強化を図った。総相談件数は2,613件となり、前年度(2,119件)に対し23%の増となった。相談員の体制充実に伴い、これまで物理的に受けることが出来なかった一般電話がつながりやすくなり、状況が改善したことが挙げられる。相談員のスキルアップのための定期的なグループスーパービジョンの実施や、男性相談員を対象とした男性性ジェンダーの視点を養う研修など、相談員の専門性の強化にも取り組んだ。このほか、前年と比較して男性のためのDV電話は横ばい、女性への暴力相談と、男性のための相談は微減となっている。本年度の傾向としては、単なる機関紹介にとどまらず、他機関との連携を一定期間に渡り継続実施する案件が複数あったことが挙げられる。</p>																								

公益目的事業別体系図

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談		条項	第4号	
事業名	相談事業		担当	事業企画課	
講座名	DV被害当事者のための自立支援事業				
目的	DV被害者が、人が本来持つべき自尊感情を取り戻し、自分を大切に思うことなどを専門家の助言を得ながら、当事者同士で語り合い、互いに受容しあうことを通して、心身の回復を促す。				
対象	DV被害を受けた経験がある女性・加害者と別居中の方				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	266	34		

事業の計画

1. 実施内容
<p>①年4回の講義と1回のボディワークを取り入れ、全5回の講座とする。</p> <p>②講座はアフター会につなぎ、最終的に自主グループ化を目指す。さらに講座参加者やグループを横断したゆるやかなネットワーク構築とフォローを行う。</p>
2. 課題
講師・スタッフ・参加者間での信頼関係の構築
3. 実績 回数(5) 定員(15) 応募者数(14) 参加延数(65) 定員充足率(87%)
<p>①DV被害者自立支援講座『わたしが私であるために』 全5回 参加者13名／のべ65名 【講師】友杉 明日香(ウイメンズカウンセリング京都)／栗岡 多恵子(Brisa) 【日時】10/19～11/16(月・朝)／4回目のみ土・昼 【テーマ】①私が「いた」ところ～DVという「支配」 ②私の「現在地」～DV被害の影響 ③私の「物語」～DV被害からの回復 ④ボディワーク からだの声を聴こう ⑤「私」から「私たちの物語」へ</p> <p>②DV被害者自立支援 居場所づくり『わたしが私であるためにアフター同窓会』参加者数のべ37名 【ファシリテーター】竹之下 雅代(ウイメンズカウンセリング京都)【日時:自由参加型】12回実施(ファシリテーターの参加しない展示作業日を含む)</p>
4. 概要と成果
<p>①DV被害者自立支援講座『わたしが私であるために』は、DV加害者と別れ、回復途上の段階にあるDV被害者を対象に実施した。4回の講義と語り合い・1回のボディワークを取り入れ、参加者はDVについての理解や自分の心や体に向き合う作業を通して、同様の悩みを持つ者は自分一人ではないことに気付き、自尊感情を取り戻していった。最終日には全員がアフター会を希望され、さらにアフター会の会期中に自助グループとして活動を開始した。</p> <p>②DV被害者自立支援 居場所づくり『わたしが私であるために アフター同窓会』では、これまで実施してきた講座受講生を対象に、ファシリテーターが同席する「居場所」の提供を行った。開催日も参加者同士で話し合って決めるなど、自主性とグループ同士のネットワークを構築した。11月のパープル月間に向けて、サバイバーのメッセージ展示「ビフォー・アフター」を完成させ、この体験は参加者の大きな自信につながった。</p>

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	担当	事業企画課		
講座名	グループ相談会				
目的	参加者同士が同じ悩みを共有し、専門家のアドバイスやグループで話し合うことでエンパワーメント(個人が自分自身の力で問題や課題を解決していくこと)することを目的とする。				
対象	母娘関係に悩んでいる方				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	260	82	178		

事業の計画

1. 実施内容
相談事業から見えてくるニーズを元にテーマを設定し、実施する。
2. 課題
・ニーズにあったテーマ設定 ・テーマに沿った対象者への効果的な広報
3. 実績 回数(3) 定員(20) 応募者数(35) 参加延数(60) 定員充足率(100%)
グループ相談会『母と娘のしんどさを見つめなおす相談会～みんなで語り合おう～』全3回 【講師】加藤伊都子(フェミニストカウンセリング堺) 【日時】2/8～2/22(月・13:00～16:00) 【テーマ】①私の思い。母について・娘について②私は私。母は母。境界線を知る。③自分を生きる。
4. 概要と成果
「母娘関係」は、女性の生きづらさを考える時、普遍的に横たわるテーマであり、多数の応募者が予想されたため、受講定員を例年より5名増やした。また、全員に発言の機会が行き渡るよう通常のグループ相談会より時間を延長した。定員20名に対し応募者は35名となり、講座への期待の高さがうかがえた。全3回を通じて語り合い、講師の助言を得ることで、母娘関係にはジェンダーが深くかかわっている、という気づきが多く参加者にもたらされた。また「母を許す」という考えを持たなくてもいいなど、個々の視点にも大きな変化が生まれた。最終回には講師やウイングス京都への本企画に関する感謝の声、このような講座の継続を望む声などを参加者から多数いただき、引き続き自助グループを模索する参加者も生まれた。アンケートでは「良かった・非常に良かった」が100%と、非常に満足度の高い講座となった。

公益目的事業別体系図

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談		条項	第4号	
事業名	相談事業		担当	事業企画課	
講座名	大学相談室派遣事業				
目的	大学内の相談室に相談員を派遣し、相談者の問題解決を支援することを目的とする。				
対象	佛教大学においてハラスメント相談に来所する学生・教職員				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	960	960	0		

事業の計画

1. 実施内容
週1回、佛教大学人権センターで学生や教職員を対象に、ハラスメントに関する相談を受ける。
2. 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点での問題解決の落とし込み ・さまざまなハラスメント事例に対応できる職員の体制づくり
3. 実績
佛教大学においてハラスメント相談に来所する学生・教職員の相談に対応した。(なお、内容や件数は開示されない。)
4. 概要と成果
<p>佛教大学においてハラスメント相談に来所する学生・教職員の相談に対応したほか、教職員向けのハラスメントへの理解を促す講座を実施するにあたり、アドバイスを行った。成果を評価され、次年度も同等の条件で相談員を派遣する。ハラスメント相談において、男女共同参画の視点での問題解決を実現するためにも、佛教大学との連携は今後とも重要である。</p>

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	関連機関連携/苦情・要望等処理制度の受付	担当	事業企画課		
講座名	関連機関連携/苦情・要望等処理制度の受付				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ DVをはじめとする相談に関わる機関の相談員が研修、事例研究、情報交換等を行う事により、相談員の資質の向上と各機関の連携を図ることを目的とする。 ・ 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付を行う。 				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	270	45	225		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性のための相談ネットワーク会議(年2回) ・ 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議 ・ 京都犯罪被害者支援連絡協議会 性犯罪被害者対策研究分科会 ・ 中京区相談連絡会議
2. 課題
各機関同士の連携強化
3. 実績 および 概要と成果
<別紙7>「関連機関連携/苦情・要望等処理制度の受付」参照(67p.)

公益目的事業別体系図

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業			担当	事業企画課
講座名	ウイングスフォーラム				
目的	男女共同参画社会の形成に向けて、市民の意識向上を図り、学習を行う。				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,000	955	45		

事業の計画

1. 実施内容

12月にイベントホールで実施(全1回)

2. 課題

男女共同参画の視点をもった演者やパネラーの選定

3. 実績

ウイングスフォーラム2015「京都発 真のワーク・ライフ・バランス～「仕事」「家庭」「地域」でイキイキと活躍するために～」【日時】12/5(土)13:30～16:00

- ◆ 京都市「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業表彰式
- ◆ 京都市「真のワーク・ライフ・バランス」実践エピソード表彰式
- ◆ 講演「働くことは生きること～逆境が私を育ててくれた～」
講演者: 中園ミホ 氏(脚本家)

4. 概要と成果

男女が共に個性と能力を発揮し、いきいきと活躍できる社会の実現を目指し学習、相互交流を行う場として開催しており、京都市男女共同参画市民会議運営懇談会・京都市の主催事業として著名人を講師に迎えて実施している。定員230名に対して362名の応募があり、当日は240名の参加となった。市民への啓発事業として実施しているので、今後も男女共同参画に関してわかりやすく話すことができ、かつ集客力のある講師を選定していくことが課題である。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業			担当	事業企画課
講座名	センター利用者や地域との協働事業				
目的	地域団体等と連携し地元との関わりを深めるとともに、ウイングス京都とその役割への認知度向上を図る。				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	150	17	133		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて暮らせるまちづくり推進会議と連携し、京まちなかを歩く日(例年11月中旬の土日)にあわせて講座受講生の成果発表イベント等を実施する。 ・センター利用者などによるロビーでの常設展示やイベントなどの開催
2. 課題
賛同団体の発掘と継続的な連携
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩いて暮らせるまちづくり推進会議連携事業 『ウイングス京都パープルフェスタ ミニステージこころのうた』 11月21日(土)11:30~13:00 「京まちなかを歩く日2015」に合わせ、ウイングス京都講座受講生が日ごろの成果を発表した。楽しいフラダンス/いきいきフラダンス/楽しいコーラス/心やわらぐ愛唱歌を歌う/歌う!ジャズ&ミュージカル/楽しい!ゴスペル&ポップス/NPOびーらぶ京都紙芝居) 『常設展示やイベント』 ロビー常設展示…展示団体数 のべ13団体
4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のコミュニティのひとつとして「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」と連携し、参加している事業。ウイングス京都の「パープルフェスタ」(女性への暴力撲滅に向けた取組)に合わせ、歌やフラダンスの講座受講者有志が、日頃の成果を披露した。事前にステージ出演者、当日には来館者にパープルフェスタの意義を丁寧に伝えることで、参画センターとして意義のある催しとなった。 ・ 常設展示やイベント 文化サークルや教室等のセンター利用者の作品を展示するスペースを1階ロビーに設置し、活動報告・交流の場として提供した。 ロビーのにぎわいを演出するとともに、センター利用者の活動の紹介の場となった。

公益目的事業別体系図

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業		担当	事業企画課	
講座名	ピンクリボン活動啓発事業				
目的	乳がん検診の大切さを訴えるとともに、女性が主体的に自身の健康を管理し、快適な毎日を送るための啓発事業を行う。				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	100	22	78		

事業の計画

1. 実施内容
<p>ピンクリボン京都実行委員会と連携し、啓発リーフレット配布、京都市内各所での啓発キャンペーンを実施する(8~10月)</p>
2. 課題
<p>ピンクリボン京都実行委員会との円滑な協働</p>
3. 実績
<p> <<ウイングス京都 ピンクリボン月間2015 ~Think! Pink Ribbon~>> 【期間】平成27年10月1日(木)~10月30日(金) 【協働団体】ピンクリボン京都実行委員会 【キャッチコピー】「大切なひと、大切な自分のために。」 ●ロビーディスプレイ、ピンクリボンメッセージキルト、書、刺繍作品 10/1(木)~10/30(金) 会場:ウイングス京都 1階ロビー/ 吹き抜け 協力:若山雅子(クリブキルト)/小筆凰外(書道家)/富塚薫(日曜刺繍) ●ピンクリボン・ブックフェア 10/1(木)~10/30(金) 会場:ウイングス京都 1階図書情報室 ●ピンクリボン京都 ライトアップイベント 10/3(土) 会場:京都駅前 京都タワー 京都府庁舎 京都市庁舎他(主催:ピンクリボン京都実行委員会) ●検診事業 参加者数:173名 (主催:ピンクリボン京都実行委員会) ●第4回ピンクリボン京都 スタンプラリー&ウォーク 10/10(土)会場:高台寺公園周辺を基点とした、祇園東山の社寺やお店 参加者数:955名 (主催:ピンクリボン京都実行委員会) ●ピンクリボン京都 市民公開講座「大切な人、大切な自分のために」 10/17(土) 会場:ウイングス京都 2階セミナー室AB 参加者数:113名 (主催:ピンクリボン京都実行委員会) ●「ピンクリボン運動賛同がん患者・家族・応援者作品展」10/20(火)~10/27(火)会場:ウイングス京都 2階 展示ギャラリー(主催:佛画教室) </p>
4. 概要と成果
<p> ピンクリボン月間である10月に、乳がんの早期検診・発見・治療の重要性を伝えるイベントの開催、Webでの情報提供、啓発リーフレット配布、ピンクリボングッズの販売協力等を実施した。ピンクリボン京都との共催で実施した市民公開講座は、乳がん啓発のみにとどまらず、女性のトータルライフを意識した講演内容とした。イベントの参加者のみならず、マスコミ、新聞各紙での広報を展開し、幅広い層にPRを行った。 </p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業		担当	事業企画課	
講座名	人権・男女共同参画研修(中京ふれあい人権講座)				
目的	中京区からの依頼を受け、人権や男女共同参画に関わる企画提案や事業の実施、講師派遣等を行う。				
対象	中京区に在住・在勤・在学の親子(子どもは小学生対象)				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	566	566	0		

事業の計画

1. 実施内容
中京区からの依頼を受け、人権や男女共同参画に関わる企画提案や事業の実施、講師派遣等を行う。
2. 課題
区民が関心をもち、子育て世代も含めた幅広い年齢層の参加につながるテーマ設定
3. 実績 回数(1) 定員(200) 応募者数(250) 参加者数(204) 定員充足率(102%)
<p>【事業名】中京区民ふれあい人権講演会「あした、笑顔になあれ～夜回り先生、いのちの授業～」</p> <p>【日時】12月12日(土)14:30～16:00</p> <p>【講師】水谷 修(花園大学客員教授)</p> <p>【受講料】無料 ※保育利用7組(こども8名)</p> <p>主催:中京区民ふれあい事業実行委員会(京都市中京区役所区民部まちづくり推進課)</p> <p>共催:中京区地域啓発推進協議会</p> <p>企画・運営:公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会</p>
4. 概要と成果
<p>中京区ふれあい人権講演会は、全ての人の人権を尊重するという視点に立ち、「女性」「子ども」「高齢者」「障害のある人」等のテーマで、人権月間である12月に実施している。今年度は「子どもの人権」に重点を置き、子どもの非行防止・更生の活動で知られる『夜回り先生』こと水谷修氏を講師に迎え、思春期の子どもが遭遇しがちな問題や悩み、子どもを守るために、私たち大人にできることは何かについてお話いただいた。講師の経験に基づく話に会場全体が耳を傾け、時折笑いが起こるなど講演に集中されている様子であった。例年に比べ、若年層や子育て世代の参加も多く、子どもの人権についての関心の高さがうかがえた。参加者は10代から80代までと幅広く、地域全体で身近な危機を乗り越える知恵と力をつけることや、人権の大切さについて考える機会となった。</p>

公益目的事業別体系図

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業		担当	事業企画課	
講座名	DV・性暴力被害者支援講座				
目的	司法関係者や相談業務従事者が共にDV・性暴力被害について理解を深め、課題解決を行うことで被害者支援の輪を広げ、DV・性暴力を許さないという強いメッセージを発信する。				
対象	司法関係者・相談業務従事者				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	270	299	△ 29		

事業の計画

1. 実施内容

被害者支援に携わる人々を対象に、性暴力サバイバー(被害を乗り越えた人)の講演会を実施することで他機関とネットワークを構築する。

2. 課題

関係機関の協力、府の事業(ワンストップセンター)との棲み分け

3. 実績

大藪順子講演会 性暴力と司法のこれからを考える

対象: 司法関係、性暴力被害者支援に関わる方

回数(1) ①定員(50)②応募者数(52) 参加人数(54) 定員充足率(108%)

【日時】6月13日土曜日 13:30~16:00

【講師】大藪順子(性暴力サバイバー/フォトジャーナリスト)中村葉子(京都地方検察庁検事)高橋みどり(弁護士)大脇美保(弁護士)周藤由美子(フェミニストカウンセラー)

大藪順子写真展「STAND 性暴力サバイバーたちの素顔」&写真展トーク

【日時】6月13日土曜日 17:30~18:00 ※写真展は6月11日(木)から3日間開催

【講師】大藪順子回数(1) ①定員なし②参加人数(約15名)

4. 概要と成果

【講演会:性暴力と司法のこれからを考える】日本の性犯罪に関する刑事司法のあるべき姿が検討されている中、性暴力被害者の視点で司法のあり方を考えるシンポジウムを実施した。前半は、性暴力サバイバーである大藪順子氏の基調講演を行い、後半は司法関係者のパネルディスカッションを行った。性暴力被害が事件化されない背景や現行司法の課題、諸外国の動向を踏まえ、サバイバーの声を中心とした司法改革と支援者ネットワークの重要性を共有した。

【写真展:STAND 性暴力サバイバーたちの素顔】性暴力を減らす・なくすために市民がそれぞれできることを考えるきっかけとして、社会で見えにくくなっている性暴力被害者の声を届ける写真展と写真展トークを実施した。写真展では自らが性暴力サバイバーであり写真プロジェクトを立ち上げた大藪順子氏を招き、写真にある背景やサバイバーの声を解説する写真展トークを実施した。事前申込不要・入場無料で実施したこともあり、多くの方が写真展に立ち止まり、性暴力の実情と向き合う姿が見受けられた。

公益3	(単位:千円)			
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号	
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業	担当	事業企画課	
講座名	DV予防講座			
目的	DVを身近に起こる社会問題(ジェンダーの問題)として理解し、地域において被害者の理解と市民レベルでの草の根的なサポート体制を図る			
対象				
	予算額	執行額	増減	会計
事業費	320	85	235	公益目的事業

事業の計画

1. 実施内容
DV被害を受けている女性たちのSOSを見抜き、確実に支援者や関係機関につなぐために、医療機関をはじめとする当事者と接点を持つ団体や機関に対し、DVについての基本的な知識と支援者として必要な情報とスキルを得るための講座を実施する。
2. 課題
対象となる機関との連携
3. 実績
①回数(1)定員(30)応募者数(22)参加延数(22)定員充足率(73%)
②回数(1)定員(30)応募者数(24)参加延数(24)定員充足率(80%)
③回数(1)定員(53)応募者数(53)参加延数(45)定員充足率(85%)
①京都府看護協会2地区(東山・山科/伏見地区)合同研修会 「DV予防講座 ～医療現場におけるDVへの取り組みについて～」 日時:平成27年7月11日(土)14:00～16:00 会場:京都市男女共同参画センター 講師:ウィメンズセンター大阪・性暴力救援センター大阪運営委員 高見陽子
②京都市立高等学校人権研究会勉強会 「DV予防講座 デートDVについて 京都調査報告書をもとに～生徒を被害者にも加害者にもしないために～」 日時:平成27年8月18日(火)15:00～16:30 会場:京都市立堀川音楽高等学校 講師:DV加害者プログラム・NOVO(ノボ)運営者神戸大学・立命館大学非常勤講師 伊田広行
③京都市立西京高等学校定時制 「DV予防講座 ～私もあなたも大切に デートDVってなんだろう～」 日時:平成27年9月2日(水)17:30～18:40 会場:京都市立西京高等学校 講師:NPO法人SEAN 副理事長・事務局長「ジェンダーと暴力」人権教育トレーナー遠矢家永子
4. 概要と成果
①医療現場で働く方を対象に具体的な対応事例を中心に講義を実施した。性暴力救援センター大阪と各機関との連携についての詳しい説明があったが、京都の事例が聞きたかったとの意見もあった。
②高等学校におけるDV・性暴力被害の具体的な対応事例について、具体事例を全員で読み合わせるなどワークを交えながら理解を深めた。生徒を被害者にも加害者にもしないという視点も、DVの問題を相互の人権問題に掘り下げた深い内容になっていた。
③高校生を対象にデートDVについての基本の知識や具体的な内容について学ぶ機会を提供した。生徒たちの恋愛観やDVについての事前アンケートを行うなど丁寧に企画された内容であったため、満足度も高かった。、実際にあったデートDVの事例のワークによって具体的に解説し、生徒の理解を深めた。

公益目的事業別体系図

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業		担当	事業企画課	
講座名	インストラクター及びサポーター活用事業				
目的	DV被害者とその子どもへの心理教育プログラム「びーらぶ」を実施するインストラクターの能力向上を目指す。				
対象	びーらぶインストラクターとこれまでのDV被害者支援事業受講者				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	950	259	691		

事業の計画

1. 実施内容
<p>平成23・24年度に養成したびーらぶインストラクターを対象に、DV被害者とその子どもたちに対する講座(びーらぶプログラム)を実施することを前提とした支援を行う。また、これまでのDV被害者支援事業受講者が、DVシンポジウムや啓発へ参加できる仕組みを作る。</p>
2. 課題
NPOびーらぶ京都(有資格者グループ)の自立に向けた支援
3. 実績
<p>1.インストラクター活用事業</p> <p>①びーらぶプログラム(ショート4回)の実施 実施日:10月4・25日,11月8日・29日,12月13日 日曜日(全5回) 参加者:3組</p> <p>②びーらぶフォローアップ講座(同窓会)の実施 実施日:7月19日 日曜日(全1回) 参加者:1組</p> <p>③びーらぶプログラムの普及活動の実施・研修への派遣 京都教育大学教育支援センター(京都性教協・5/19)等5回</p> <p>④公開講座(お互いに心地よいと思える人間関係をつくるために—境界線を学ぶ)の共催 実施日:2月6日 土曜日(全1回) 参加者:40名</p> <p>2.サポーター活用事業</p> <p>①登録サポーターによる啓発活動への参加 実施日:11月12日 木曜日(全1回)パープルリボンキャンペーン2015(啓発グッズ配布)</p> <p>②女たちのカフェ(笑って死のう~人生一度だけ~) 実施日:1月23日,2月13日 土曜日(全2回) 参加者:16名</p>
4. 概要と成果
<p>前年度に引き続き、びーらぶインストラクター(有資格者)及びDV被害者支援事業受講者による登録サポーターとの連携により幅広いDV被害者支援を行った。特にインストラクターグループは、びーらぶプログラムの実施を中心に、普及活動や公開講座の実施等、年間を通じて積極的に活動を行った。びーらぶプログラムはショート4回を実施し、小学校低学年の母子が参加した。少ない人数ではあったが、インストラクターのスキルの向上もあり、より深い学びが実現し、それぞれの回復の力になったと、参加者・インストラクターともに実感することができた。</p> <p>また、サポーターグループ「パープルウイング」による「女たちのカフェ」を、DV被害女性が気軽に集まって話せる場を提供することを目的に開催した。参加者はそれぞれの抱える困難を話し合い、ジェンダーの気付きやDVへの理解を深める機会となった。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	ドメスティック・バイオレンス対策事業		担当	事業企画課	
講座名	パープルリボンの取り組み他				
目的	「女性に対する暴力をなくす運動期間(11/12~25)に合わせて、11月をパープルリボン月間と定め、ブックフェアの開催(図書情報室)や館内における情報掲示、パープルリボンツリーの設置等、市民への啓発事業を行う。				
対象	一般市民				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	150	2	148		

事業の計画

1. 実施内容
<p>・パープルリボンの取り組み 1Fロビー等を利用して、常設展示及びイベント等を実施する。実施にあたっては、近隣の男女共同参画センターや活動団体との協働により運営・開催する。女性への暴力撲滅に関する取組を市民と協働し実施する。</p>
2. 課題
連携する団体との関係を維持し、広く市民に訴えることができるイベントの開催
3. 実績
<p>「女性に対する暴力をなくす運動」(11/12~11/25)期間に合わせ、ウイングス京都は11月をパープルリボン月間として、女性や子どもへの暴力をなくす運動のシンボルであるパープルリボンを軸にしたDV撲滅のために啓発等の事業を行った。</p> <p>①「パープルリボン月間」常設の取り組み 開催期間:11月1日(日)~11月30日(月) パープルリボン・ツリー&メッセージボードの設置/パープルリボン署名キルトの展示(ボランティア アチーム楽希生との協働企画)/DVに関するブックフェアの開催及びブックリストの配布/DVに関する事業・相談室等の情報コーナーの設置/DV防止や被害者支援を行っている5団体の活動紹介をパネル展示/ホームページをDV仕様に変更/DV被害者自立支援講座受講者による作品&メッセージの展示</p> <p>②「パープルフェスタ2015」の開催 実施日:11月21日(土)10:30~16:00 内容:てづくりワークショップ(パープルリボンをモチーフにしたクラフト)とミニバザー ・バザーと啓発紙芝居(NPOびーらぶ京都) ・ステージ発表(協力:ウイングス京都歌講座・フラダンス講座受講者ほか)</p>
4. 概要と成果
<p>常設展示とイベントの開催によるパープルリボンの啓発を行った。展示は被害者支援団体の活動紹介だけでなく、当事者グループからの出展もあり、DVを多角的に知ることのできる奥行きのある企画になった。また、フェスタ参加団体や運動講座・歌講座受講者には、毎年のごとくとして認識されるようになってきていて心強い。今後も様々な立場の人や団体が集まる機会として実施していきたい。</p>

公益目的事業別体系図

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	人材・団体育成事業		担当	事業企画課	
講座名	市民活動サポート事業				
目的	地域コミュニティの活性化のため、NPO等の市民団体による個性豊かな事業を展開することを目指す。				
対象	市内で活動するNPOやグループ				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	345	205	140		

事業の計画

1. 実施内容						
男女共同参画の推進に関わる活動をしているNPOやグループなどの実践的な研究や活動に対して助成し、男女共同参画の実現を目指す多様な取組をサポートする。						
2. 課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知 ・助成内容の検討 						
3. 実績						
<p>応募のあった5団体のうち、2団体に助成をおこなった。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"><団体名></td> <td style="width: 50%; border: none;"><助成金額></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">①保育グループマザーグース</td> <td style="border: none;">¥100,000- (上限)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">②一般社団法人いばしょ</td> <td style="border: none;">¥100,000- (上限)</td> </tr> </table>	<団体名>	<助成金額>	①保育グループマザーグース	¥100,000- (上限)	②一般社団法人いばしょ	¥100,000- (上限)
<団体名>	<助成金額>					
①保育グループマザーグース	¥100,000- (上限)					
②一般社団法人いばしょ	¥100,000- (上限)					
4. 概要と成果						
<p>①保育グループマザーグースは、男女共同参画事業や地域の子育て支援に必要な保育事業を担う人材育成を目指し、4回講座を実施した。14名の参加者は、個性を伸ばす教育やDVなどの社会問題を理解するために、積極的な姿勢で学び合い、2か月の保育実習を経て保育メンバーに加わった。</p> <p>②一般社団法人いばしょは、若年介護者の問題をジェンダーの視点を入れて課題共有する講座を開催した。若年介護者の問題自体が社会的に認知され始めたこともあり、全国から参加者が集まる結果となった。当事者は前年の市民活動サポート事業の一つである男性介護者支援事業の参加者であり、男性にとっての介護を継続して考える取組みとなった。</p>						

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	人材・団体育成事業		担当	事業企画課	
講座名	女性の防災リーダー育成事業				
目的	災害に備え、安心して暮らせる地域づくりの推進を目指し、女性の防災リーダーを育成する。				
対象	地域の防災、福祉、防犯等で活動する女性				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	350	141	209		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の女性の困難と対策(震災時の事例を聞く) ・地域の防災・減災を男女共同参画の視点で確認する。 <p>対象:町内会、女性消防団員、民生委員、働く女性、PTA、保健師、保育士等</p>
2. 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・防災危機管理室、消防局、消防団、保育園連盟等、関連組織との連携(女性防災会議) ・取組を拓げるための協力体制・ネットワークづくり
3. 実績 回数(2) 定員(50) 応募者数(50) 参加者数(46) 定員充足率(92%)
<p>【事業名】男女共同参画・多様性配慮の視点で学ぶ「女性防災リーダー養成講座」 【日時】①1月16日(土)10:00~16:00 ②1月17日(日)10:00~12:30 全2回 【講師】浅野幸子(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表/早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員) 【内容】 ①1月16日(土)10:00~16:00 防災基礎知識/女性・子ども・高齢者等が直面する災害時の困難と対策/防災食試食(休憩)/女性による支援の実際と意義/体験!情報収集訓練・物資編/避難所運営あれこれ/避難所運営マニュアル・組織の改善の視点/「被災後の生活状況についてのアンケート」/「チェックリスト 地域の防災体制と活動」 ②1月17日(日)10:00~12:30 地域ごとにグループ分けし、京都市避難所運営マニュアルと、地域で実際に作成された避難所運営マニュアルをテキストに、チェックポイントを確認し、地域特有の課題を話し合い、地域の備えにニーズを反映させる方法を検討。【協力】京都市行財政局防災危機管理室、地域力推進室総務防災担当、消防局(自主防災会担当)、京都市保健福祉局、社会福祉協議会</p>
4. 概要と成果
<p>男女共同参画、多様性配慮の視点から、災害時に女性のニーズや多様性に対応できる視点を養うとともに、地域のリーダーやキーパーソンとなる人材を養成し、防災・復興計画の策定等における女性の参画をすすめることを目的として実施した。関係機関との連携で、自主防災会、消防団、社会福祉協議会に所属する対象者を集客できた。参加者のうち34名が女性防災リーダー養成講座を修了し、ジェンダー多様性配慮の視点で地域で積極的に活動する人材を獲得できた。</p>

公益目的事業別体系図

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	人材・団体育成事業			担当	事業企画課
講座名	共催・後援事業／講座受講生のグループ育成				
目的	男女共同参画推進に関わる事業等を実施する機関やNPOと協働し、会場提供や広報協力を通じて事業の推進を支援する。				
対象	NPOや企業／講座から発生したグループ				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	260	0	260		

事業の計画

1. 実施内容
男女共同参画社会の実現に向けた企画について共催・後援を行う。
2. 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・協働団体との連携 ・新しい協働団体の発掘
3. 実績
<p>共催・後援事業 13件 <別紙8>「共催・後援事業」(68p.)参照</p>
4. 概要と成果
<p>団体の主催者の多くは、ジェンダーの視点があり、ミッションを共有して事業を進めることができた。</p> <p>ユースサービス協会の若者向けのデートDV「思春期のかかわり方」講座では、主催と共催の職員同士の交流が深まれば、性差による問題や若者の問題を共に課題解決する可能性が高まるとわかった。</p> <p>ウィメンズカウンセリング京都「20年間のフェミニストカウンセリング実践」では、団体の課題や展望を通して、男女共同参画社会実現について、参加者自身が考える機会となり当協会にとっても意義深い共催事業となった。</p> <p>ただ、初めての共催事業では、保育室等の管理運営、参加者への公平な対応など、当協会の認識と違う点も多く、報告・連絡・相談を充実させる必要を実感した。</p> <p>また、今後は会場使用料の減免や、広報協力の内容について考慮できれば、主催者がより安心して、安定した運営ができ、満足度も高まると思われる。市民との協働を強化するのであれば、現在の共催規程を見直す必要がある。</p>

公益3					(単位:千円)
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	担当	事業企画課		
講座名	相談員養成講座(★人材育成事業準備資金により実施)				
目的	あらゆる相談窓口に携わる人を対象に、男女共同参画の視点を持ち、個人の問題を社会の問題としてとらえることのできる人材を養成する。				
対象					
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	2,000	762	2,000		

事業の計画

1. 実施内容
ジェンダーの視点に沿った相談員養成講座 ・女性のための相談 基礎編 各2H×6回程度 ・女性のための相談 応用編 各2H×6回程度 ・男性のための相談 基礎編 各2H×3回程度
2. 課題
講座終了後のインターンシップ受入れ体制の構築
3. 実績 ①回数(10) 定員(50) 応募者数(59) 参加者数延(500) 定員充足率(100%) ②回数(10) 定員(30) 応募者数(35) 参加者数延(350) 定員充足率(100%)
「男女共同参画の視点を持った相談員養成講座」 ①女性のための相談基礎編 10/31～12/19(土)全10回 各テーマの専門家からのジェンダーの視点に沿った講義 講師:伊藤公雄/井上摩耶子/周藤由美子/牟田和恵/藤田光恵/田村秀子/原多恵子/ 臼井一美/伊田久美子(各90分) ②女性のための相談応用編 1/23～3/19(土)全10回 講師:中村正/周藤由美子/金共子/井上摩耶子/竹之下雅代(各90分・講義とロールプレイ・重複講師あり) 基礎編・応用編を修了した方を対象に修了証を発行(16名)
4. 概要と成果
社会の現状を把握し、現代社会の様々な問題に対応できる相談員を目指し、各テーマの専門から学ぶ講座を実施。欠席分はレポート提出等厳しい条件ではあったが、最終16名の方が修了証を手にし、当センター相談室でのインターンシップを希望した。今後は次年度のインターンシップを通し、サポーターとして登録し、ジェンダーの視点を持った相談員の確保につなげたい。

公益目的事業別体系図

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用団体に対する施設管理業務			担当	総務課
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	32,780	32,241	539		

事業の計画

1. 実施内容

- (1) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う。
- (2) 危機管理・消防訓練・防災計画
センターとしての危機管理及び平成26年度に協定を締結した京都市妊産婦等福祉避難所としてマニュアルを作成する。
- (3) 環境改善(KES環境マネジメント)
 - ・ エネルギー 電力消費量の1%削減
 - ・ ペットボトルのキャップを回収してエコキャップ協会に寄付する。
 - ・ 環境啓発 クールスポット事業
- (4) サービス向上と苦情への対応
 - ・ インターネット上での施設予約受付実施についての検討
 - ・ 館内インターネット環境の整備
- (5) 利用者アンケートの実施
- (6) センターの認知度向上
広報の充実(ホームページ・Facebook・Twitterの活用・広報パンフレット作成等)

2. 課題

新規目的登録団体の開拓

3. 実績 および 4. 概要と成果

(1) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために
目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う。

<目的利用登録団体数> 平成26年度 91団体 平成27年度 102団体

<目的利用事業数> 平成26年度 5件 平成27年度 4件

新規目的利用登録団体は、当協会の事業に共催、講師など関わっている団体を
新しく登録し、11件の増加となった。

(2) 危機管理

- ・消防訓練 第1回 6月 新任職員対象
第2回 11月 全館避難訓練
- ・館内の監視カメラの運用に関する要綱を策定した。

(3) 環境改善(KES環境マネジメント)

①電力消費量の前年度維持 達成率103%

②エコキャップ運動 達成率83%

③クールスポット運動 達成率120%

電力使用量は、暖冬による空調の使用量の減少と、館内照明をLEDに切り替えたことにより、目標を達成した。

エコキャップ運動については、送付先を見直すために一時的に回収を中止していたため、目標値には達しなかった。

(4) サービス向上と苦情への対応

市民対応アンケートの結果を受け、以下を行った

- ・館内表示の見直し
- ・窓口対応に関する研修(話し方、付属設備の知識習得)

(5) 利用者アンケートの実施

・市民対応アンケート 【実施期間】11/1～12/28 回収数 376枚

<別紙9>「平成27年度窓口サービス評価・実践制度の実施結果について」参照(66p.67 p.)

・中京区民ふれあい祭り 【日時】10/25 10:00～15:00 回収数 210枚

市民対応アンケートでは、あいさつや身だしなみについては、満足と回答した利用者が80%を超えたが、職員からの声かけや案内表示については満足度が低かったため、利用者への声かけの徹底をはかり、館内の案内表示を全て見直した。

中京区民ふれあい祭りについては、昨年度とブースの場所が変わり、昨年度より50枚ほど多くアンケートを回収できた。ウイングス京都の認知度は80%以上になったが、ウイングス京都を知っているが利用したことがないという回答が依然として40%以上いるため、さらに広報に工夫が必要である。

(6) センターの認知度向上

広報の充実

・ホームページ 閲覧数 平成26年度 445,936件 平成27年度 448,735件

・Facebook いいね登録者数 平成26年度 414人 平成27年度末 472人

・Twitter フォロワー数 平成26年度 895人 平成27年度末 1039人

(7) 施設利用者への展示スペースの設置

<利用団体数> 平成26年度 のべ15団体 平成27年度 のべ13団体

公益目的事業別体系図

収益	(単位:千円)				
定款	収益事業				
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用団体以外に対する施設管理業務		担当	総務課	
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す。				
	予算額	執行額	増減	会計	収益事業
事業費	55,032	54,998	34		

事業の計画

1. 実施内容
<p>(1) 目的利用以外の団体に対し、施設の貸出を行う。</p> <p>(2) 危機管理・消防訓練・防災計画(再掲)</p> <p>(3) 環境改善(KES環境マネジメント)(再掲)</p> <p>(4) サービス向上と苦情への対応(再掲)</p> <p>(5) 利用者アンケートの実施(再掲)</p> <p>(6) センターの認知度向上(再掲)</p>
2. 課題
<p>施設の幅広い活用を促し、活気あるセンターにする。</p>
3. 実績
<p>(1)施設利用率(日数利用率) 平成27年度 90.1% (参考:平成26年度 90.2%) 貸館使用料 平成27年度 67,637,670円 (参考:平成26年度 66,441,840円) 入館者数 平成27年度 489,548人 (参考:平成26年度 483,970人) <別紙11-1、2>「平成27年度 京都市男女共同参画センター利用状況」(71p.72p.)</p>
4. 概要と成果
<p>施設利用率についてはほぼ前年度並み、貸館使用料、入館者数については若干増加した。 イベントホールの利用率が、平成26年度と比較して3%程度上昇した。</p>

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	経営管理、組織・人事管理		担当	総務課	
目的	評議員会、理事会の決定に基づいた運営を行い、柔軟な組織体制と安定した経営基盤の強化を図る。				
	予算額	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	3,352	4,028	△ 676		

事業の計画

1. 実施内容

(1) 評議員会・理事会の開催・運営

- ・ 評議員会(評議員・理事・監事改選) 年1回 6月 (臨時に開催する場合もある)
- ・ 理事会 年2回 5月・3月 (臨時に開催する場合もある)
- ・ 業務執行理事会 年2回 5月・3月 (臨時に開催する場合もある)
- ・ 事務局会議(専務理事(事務局長)・常務理事・課長・係長・主任) 毎週1回
- ・ 各係会議 月1回程度
- ・ その他
男女共同参画推進課との連絡会議(京都市主管課との連絡体制として) 毎月1回

(2) 組織 (別紙12)

(3) 指定管理に関する業務

- ・ 情報公開
- ・ 個人情報保護の取り扱い
- ・ 外部評価制度の実施

(4) 人事・労務・研修

- ・ 他機関との交流研修や人材育成研修
- ・ 目標管理システム

(5) 公益法人に関する業務

(6) その他の財団運営

- ・ 半期報告会の実施
- ・ 大学インターンシップ受け入れ

公益目的事業別体系図

2. 課題

財団運営の指針となる「未来へのつばさ」遂行に向けた職員の人材育成

(1) 評議員会・理事会の開催・運営

- ・ 評議員会(評議員・理事・監事改選) 定時 6/18(木)開催
- ・ 理事会 定時 第1回5/28(木)・第2回3/25(金)
臨時 6/18(木)開催
- ・ 業務執行理事会 第1回5/18(月)・第2回8/24(月)・第3回3/10(木)開催
- ・ 事務局会議(専務理事(事務局長)・常務理事・課長・係長・主任) 毎週1回実施
- ・ 各係会議 月1回程度

(2) 組織 <別紙12>「組織体制」参照(73p.)

(3) 指定管理に関する業務

- ・ 情報公開 公開件数 5件
- ・ 個人情報保護の取り扱い 問題なく運用
- ・ 外部評価制度の実施 京都市と外部評価のあり方について検討した。

(4) 人事・労務・研修

- ・ 他機関との交流研修や人材育成研修 人材育成研修:6回実施
27テーマによるアラカルト研修実施

<別紙13-1>「研修一覧」参照(74-76p.)

<別紙13-2>「平成27年度 人材育成研修-アラカルト研修-」参照(77p.)

- ・ 目標管理システム 業績評価シートの改定

(5) 公益法人に関する業務

- ・ 平成26年度事業報告 6/29提出
- ・ 平成27年度事業計画 3/27提出
提出先:京都府

(6) その他の財団運営

- ・ 半期報告会の実施 11/26
理事、当協会係長以上の職員が出席し、事業の進捗状況の報告と意見交換
- ・ 大学インターンシップ受け入れ
 - ①8月6日～31日(計10日間)／京都精華大学4回生 1名
 - ②2月15日～20日(計5日間)／京都華頂大学2回生 2名

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	財務運営		担当	総務課	
目的	収入の安定と経費削減				
	予算額	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	3,352	4,028	△ 676		

事業の計画

1. 実施内容
<p>(1) 収入の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 賛助金制度・寄付金制度の導入の検討 ・ 助成金の活用 ・ 京都市、他都市や企業からの委託事業 <p>(2) 経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託費の見直し
2. 課題
事業収入の拡大
3. 実績
<p>(1) 収入の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄付金 92,000円 ・ 中京区民ふれあい人権講演会業務受託(中京区) 566,509円 ・ 平成27年度女性の活躍の「見える化」事業受託(京都府) 2,901,960円 <p>(2) 経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 光熱水費 平成26年度 27,167,851円 平成27年度23,981,420円 昨年度より318万円削減した。
4. 概要と成果
<p>(1) 収入の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業収入は新規講座の開設や講座回数の増加により、昨年度より86万円増額した。 ・ 京都府から300万円規模の事業を受託できた。 <p>(2) 経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託費については、新規事業の受託や新規講座の開設、委託料値上げにより、昨年度より320万円増額した。 ・ 光熱水費については、新電力会社の見直しやLEDの導入及び暖冬の影響により電気料金を昨年度より318万円削減できた。

参 考 资 料

入室者数

平成26年度末	平成27年度末
82,952人	79,210人

蔵書数

	平成26年度末	平成27年度末
一般図書	52,482冊	52,076冊
雑誌・ミニコミ・行政資料など	23,713冊	18,872冊
貸出用DVD・ビデオ	706本	719本

図書情報室利用状況

	平成26年度末	平成27年度末
利用登録者数	898人	765人
のべ利用者数	14,042人	13,215人
貸出冊数	31,992冊	30,171冊
DVD・ビデオ貸出数	1,149本	914本

予約数

	平成26年度末	平成27年度末
図書	1,024冊	816冊
雑誌	485冊	547冊
ビデオ	19本	23本
合計	1,528件	1,386件

リクエスト数

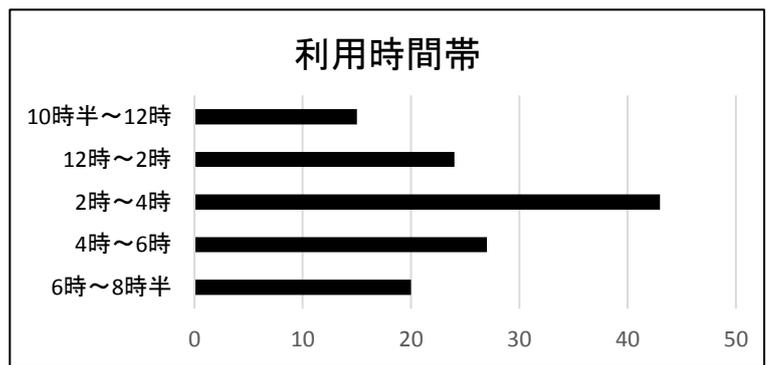
全リクエスト数	内、購入数
96件	25件

研修貸出

研修貸出件数	貸出タイトル数
7件	11タイトル

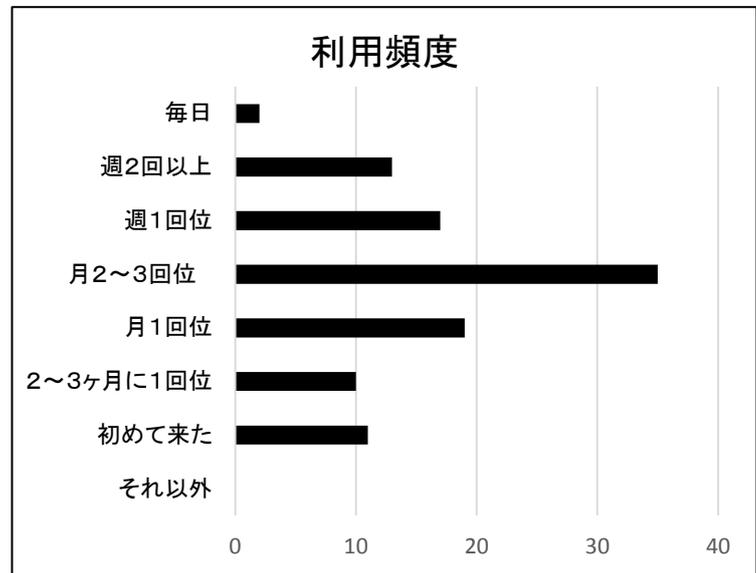
1 本日のご利用時間帯を教えてください。

10時半～12時	15
12時～2時	24
2時～4時	43
4時～6時	27
6時～8時半	20



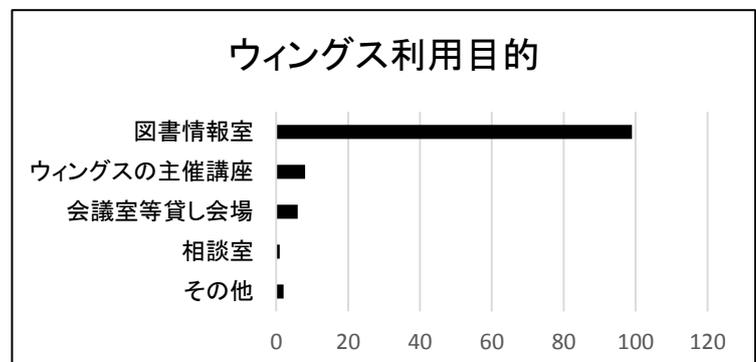
2 図書情報室にはどれ位の頻度で来られますか。

毎日	2
週2回以上	13
週1回位	17
月2～3回位	35
月1回位	19
2～3ヶ月に1回位	10
初めて来た	11
それ以外	0



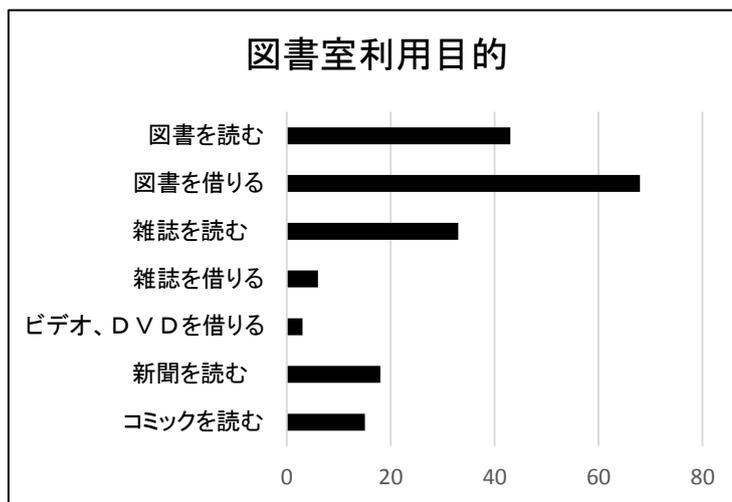
3 本日のウイングス京都のご利用の目的は何ですか。(○はいくつでも)

図書情報室	99
ウイングスの主催講座	8
会議室等貸し会場	6
相談室	1
その他	2



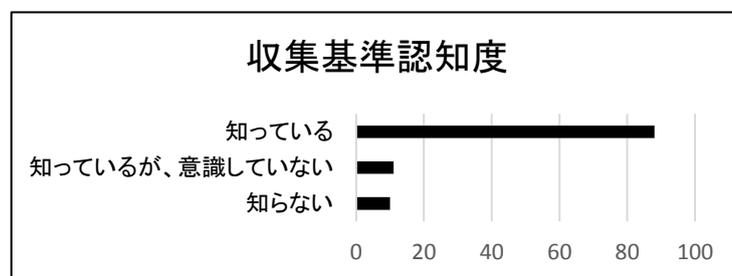
4 本日の図書情報室のご利用の目的は何ですか。(○はいくつでも)

図書を読む	43
図書を借りる	68
雑誌を読む	33
雑誌を借りる	6
ビデオ、DVDを借りる	3
新聞を読む	18
コミックを読む	15



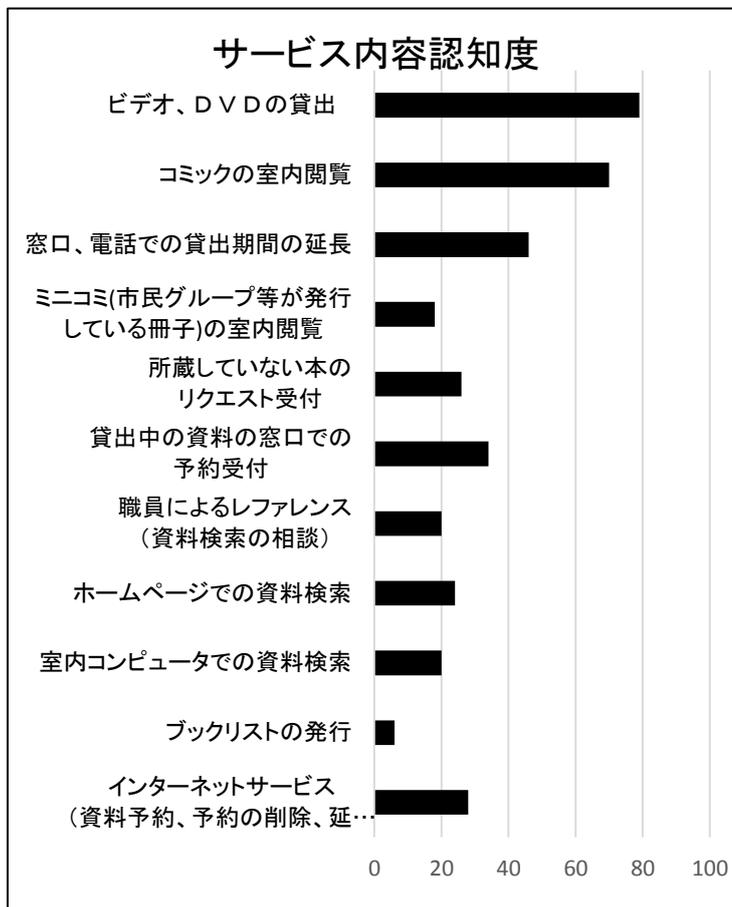
5 この図書情報室は、男女共同参画に関する資料を主に収集していることをご存知ですか。

知っている	88
知っているが、意識していない	11
知らない	10



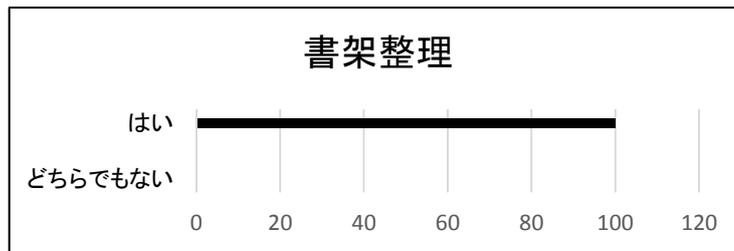
6 図書情報室のサービスで、知っているものはありますか。(○はいくつでも)

ビデオ、DVDの貸出	79
コミックの室内閲覧	70
窓口、電話での貸出期間の延長	46
ミニコミ(市民グループ等が発行している冊子)の室内閲覧	18
所蔵していない本のリクエスト受付	26
貸出中の資料の窓口での予約受付	34
職員によるレファレンス(資料検索の相談)	20
ホームページでの資料検索	24
室内コンピュータでの資料検索	20
ブックリストの発行	6
インターネットサービス(資料予約、予約の削除、延長、貸出状況の確認、予約確保のメール連絡)	28



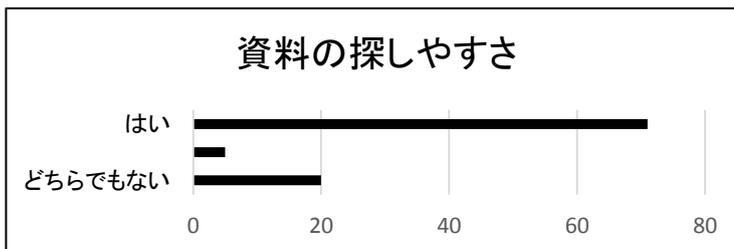
7 書架はきれいに整理されていますか。

はい	100
いいえ	0
どちらでもない	0



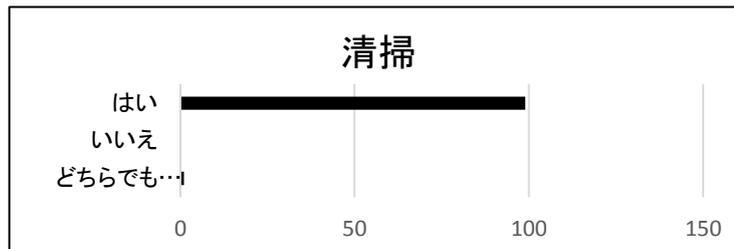
8 探している図書はすぐに見つかりますか。

はい	71
いいえ	5
どちらでもない	20



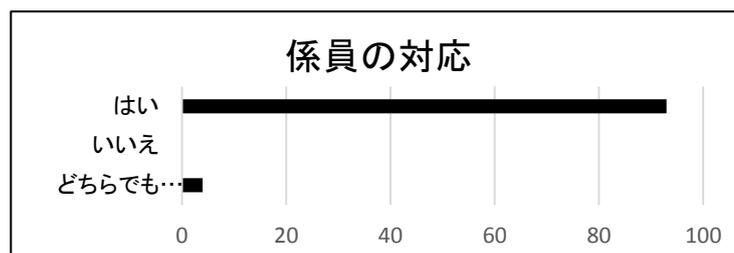
9 テーブルや書架はきれいに清掃されていますか。

はい	99
いいえ	0
どちらでもない	1



10 係員の対応はていねいですか。

はい	93
いいえ	0
どちらでもない	4



インターネットでの情報発信

ホームページによる情報掲載

○ホームページの閲覧数（ビュー数）

平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
364, 879	372, 696	407, 078	438, 973	445, 936	448, 735

○ホームページの訪問数（訪問人数）

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
訪問数	80, 448 回	91, 742 回	112, 540 回	134, 935 回	146, 267 回	149, 455 回
うち新規	44, 895 回	50, 454 回	60, 419 回	74, 294 回	85, 271 回	85, 714 回
うちリピーター	35, 553 回	41, 288 回	52, 121 回	60, 641 回	60, 996 回	63, 741 回

○携帯サイトの閲覧数（ビュー数）

平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
2, 042	2, 711	2, 677	2, 249	1, 916	2, 473

※ホームページの閲覧数に含む。

メールマガジン「ウィングスプレス」

○平成 27 年度 登録者数合計 2, 010 人

○PC版メールマガジン登録者数（平成 28 年 3 月末現在）

平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
1, 232 人	1, 214 人	1, 270 人	1, 318 人	1, 364 人	1, 476 人

○携帯版メールマガジン登録者数（平成 28 年 3 月末現在）

平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
52 人	102 人	216 人	383 人	460 人	534 人

フェイスブック（平成 28 年 3 月末現在）

○平成 27 年度 いいね数 473 人

ツイッター（平成 28 年 3 月末現在）

○平成 27 年度 フォロワー数 1, 032 人

＜一般市民対象＞

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	3	8	1	7
2	第2四半期	3	29	4	25
3	第3四半期	3	22	2	20
4	第4四半期	3	16	2	14
		12	75	9	66

＜企業対象＞

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	0	0	0	0
2	第2四半期	1	19	8	11
3	第3四半期	1	34	25	9
4	第4四半期	0	0	0	0
		2	53	33	20

＜学校対象＞

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	2	33	25	8
2	第2四半期	10	174	61	113
3	第3四半期	2	37	10	27
4	第4四半期	2	100	45	55
		16	344	141	203

＜PTA対象＞・・・対象無し

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	0	0	0	0
2	第2四半期	0	0	0	0
3	第3四半期	0	0	0	0
4	第4四半期	0	0	0	0
		0	0	0	0

＜京都市＞

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	3	70	59	11
2	第2四半期	0	0	0	0
3	第3四半期	0	0	0	0
4	第4四半期	0	0	0	0
		3	70	59	11

＜その他行政・団体対象＞

		件数	出席	男	女
1	第1四半期	1	16	10	6
2	第2四半期	0	0	0	0
3	第3四半期	3	59	13	46
4	第4四半期	1	60	32	28
		5	135	55	80

平成27年度年間利用数	件数	出席	男	女
合計	38	677	297	380

四半期ごとの利用数	件数	出席	男	女
第1四半期	9	127	95	32
第2四半期	14	222	73	149
第3四半期	9	152	50	102
第4四半期	6	176	79	97

運動実技講座

●フラダンス講座

楽しいフラダンス 月曜 昼 13:15~14:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/13 ~ 7/6	昼	12	27
秋期	9/7 ~ 12/14	昼	12	28
冬期	1/18 ~ 3/28	昼	10	28
合計			34	83

講師：レイ・オフ・レナフラスタジオ所属 高田 美紀

いきいきフラダンス 月曜 昼 15:00~16:00 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/13 ~ 7/6	昼	12	18
秋期	9/7 ~ 12/14	昼	12	23
冬期	1/18 ~ 3/28	昼	10	23
合計			34	64

講師：レイ・オフ・レナフラスタジオ代表 森井 レナ
レイ・オフ・レナフラスタジオ所属 高田 美紀

●ヨガ講座

バランスング・ヨガ 月曜 夜 19:00~20:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/13 ~ 8/3	夜	15	26
秋期	8/27 ~ 12/21	夜	15	30
冬期	1/18 ~ 3/28	夜	10	31
合計			40	87

講師：ヨガインストラクター 伊藤 加奈子

骨盤ヨガ 金曜 昼 13:15~14:30 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/10 ~ 8/7	昼	18	29 (0)
秋期	8/28 ~ 12/25	昼	18	25 (1)
冬期	1/15 ~ 3/18	昼	10	27 (1)
合計			46	81 (2)

講師：ヨガスタジオ TAMISA インストラクター Yuka

ゆったりヨガ 金曜 昼 15:00~16:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/10 ~ 8/7	昼	18	21
秋期	8/28 ~ 12/25	昼	18	21
冬期	1/15 ~ 3/18	昼	10	25
合計			46	67

講師：ヨガスタジオ TAMISA インストラクター Yuka

パワーヨガ (夜コース) 木曜 夜 19:00~20:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/9 ~ 8/6	夜	18	27
秋期	8/27 ~ 12/24	夜	18	31
冬期	1/14 ~ 3/24	夜	10	29
合計			46	87

講師：ヨガスタジオ TAMISA インストラクター Saki

●リズムウォーク & ボールエクササイズ講座

木曜 朝 10:00~11:30 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (全て女性)
春期	4/16 ~ 7/23	朝	15	21
秋期	9/10 ~ 12/17	朝	15	20
冬期	1/14 ~ 3/24	朝	10	20
合計			40	61

講師：エアロビクスダンスインストラクター 酒井 祐子

●ピラティス講座

金曜 夜 Reset 19:00~20:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/10 ~ 8/7	夜	18	33 (0)
秋期	9/11 ~ 12/18	夜	15	33 (0)
冬期	1/8 ~ 3/11	夜	10	36 (1)
合計			43	102 (1)

講師：ピラティススタジオ eQuality / STOTT PILATES 公認インストラクター
藤井 良子

土曜 朝 Flow 10:00~11:15 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/11 ~ 8/8	朝	18	37 (2)
秋期	9/12 ~ 12/19	朝	15	38 (3)
冬期	1/9 ~ 3/12	朝	10	37 (3)
合計			43	112 (8)

講師：ピラティススタジオ eQuality/STOTT PILATES 公認インストラクター
池端 美紀

●気功講座

金曜 朝 10:00~11:30 定員各 35 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
春期	4/17 ~ 7/24	朝	15	26 (3)
秋期	9/4 ~ 12/11	朝	15	29 (2)
冬期	1/8 ~ 3/11	朝	10	26 (2)
合計			40	81 (7)

講師：京都気功学院講師 矢野 知恵子

●フィットチョイス (新規)

土曜 夜 19:00~20:30 定員各 35 人

実施日	時間帯	回数券	受講者数 (うち男性)
6/6 ~ 8/29	夜	1回券	37 (0)
6/6 ~ 8/29	夜	3回券	45 (1)
6/6 ~ 8/29	夜	5回券	14 (1)
合計			96 (2)

講師：ピラティススタジオ eQuality/STOTT PILATES 公認インストラクター
近藤 美由紀

ベリーダンスインストラクター 河内 陽子
レイオフレナ フラスタジオ代表 森井 レナ
ヨガインストラクター 伊藤 可奈子

●運動講座ビジター

	受講者数 (うち男性)
春期	23 (2)
秋期	64 (2)
冬期	19 (0)
合計	106 (4)

歌講座

●歌講座

楽しいコーラス(初級)

月曜 13:30~15:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数(うち男性)
春期	4/6 ~ 7/27	昼	15	29 (2)
秋期	9/7 ~ 12/14	昼	12	39 (2)
冬期	1/18 ~ 3/28	昼	10	39 (2)
合計			37	107 (6)

講師：声楽指導 玉木 悦子

歌う！ジャズ&ミュージカル

木曜 13:30~15:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数(うち男性)
春期	4/16 ~ 7/23	昼	15	28 (1)
秋期	9/10 ~ 12/17	昼	15	32 (2)
冬期	1/14 ~ 3/24	昼	10	32 (2)
合計			40	92 (5)

講師：声楽トレーナー 安藤 邦子

楽しい！ゴスペル&ポップス

木曜 15:30~17:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数(うち男性)
春期	4/16 ~ 7/23	昼	15	41 (3)
秋期	9/10 ~ 12/17	昼	15	40 (3)
冬期	1/14 ~ 3/24	昼	10	40 (3)
合計			40	121 (9)

講師：声楽トレーナー 安藤 邦子

心やわらぐ愛唱歌をうたう

金曜 13:30~15:00 定員各 40 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数(うち男性)
春期	4/14 ~ 7/24	昼	15	33 (2)
秋期	9/11 ~ 12/18	昼	15	33 (1)
冬期	1/15 ~ 3/18	昼	10	33 (1)
合計			40	99 (4)

講師：声楽トレーナー 安藤 邦子

●歌講座ビジター

	受講者数 (うち男性)
春期	26 (1)
秋期	29 (2)
冬期	10 (1)
合計	65 (4)

●歌声喫茶 月1回×12回 (うち拡大版4回)、フォーク&ポップス版×3回

歌声喫茶

金曜 18:30~20:30 定員各 50 人

実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
4/17	夜	1	69 (14)
6/19	夜	1	70 (18)
8/ 7	夜	1	70 (2)
9/18	夜	1	67 (8)
11/20	夜	1	72 (11)
12/18	夜	1	67 (10)
1/15	夜	1	67 (10)
3/18	夜	1	67 (10)
合計		8	549 (83)

講師：リーダー 島田 静雄

歌声喫茶 拡大版！

土曜 14:00~16:00 定員 200 人

実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
5/ 9	昼	1	202 (17)
7/18	昼	1	208 (19)
10/17	昼	1	194 (24)
2/20	昼	1	194 (17)
合計		4	798 (77)

講師：リーダー 島田 静雄

歌声喫茶 フォーク&ポップス版

金曜 18:30~20:30 定員 50 人

実施日	時間帯	回数	受講者数 (うち男性)
6/ 5	夜	1	65 (10)
9/ 4	夜	1	41 (2)
2/ 5	夜	1	50 (14)
合計		3	156 (26)

講師：リーダー 島田 静雄

朗読講座

リフレッシュ朗読！講座

月曜 13：30～15：30 定員 25 人

	実施日	時間帯	回数	受講者数（うち男性）
前期	4/13 ～ 8/ 3	昼	10	15 (0)
冬期	9/14 ～ 2/29	朝	12	15 (0)
合計			22	30 (2)

講師：朗読指導者・ボイストレーナー 栗山かおり

朗読ライブ

うたかたライブ

金曜 18：30～20：30 定員 50 人

実施日	時間帯	回数	受講者数（うち男性）
6/12	夜	1	60 (6)
2/13	夜	1	53 (4)
合計		2	113 (10)

出演：栗山かおり・鈴木こう・梶原玲子

相談室ご利用アンケート

◆ウイングス京都相談室にどのようなことを期待されますか？

	重要	重要でない	どちらでもよい	無記入
相談員が親切	92	1	1	0
相談員が同性	76	6	10	2
安心感	93	0	1	0
託児がある	33	20	36	5
静寂	60	11	21	2
秘密の厳守	93	0	1	0
話を十分に聞いてもらえる	92	1	0	1
必要な情報を得られる	88	2	4	0
人目につかない	67	4	23	0
その他	0	0	0	0

◆今日の相談はどのようにやりましたか？

不安やつらい思いが軽くなった	63
ありのままの自分を受け止めてもらった	57
自分の気持ちを言葉にできた	62
次に進むための情報を得た	33
次に進むための心の準備ができた	50
悩みや問題の整理につながった	59
自分を大切にしていと思った	38
自分が今できること、すべきことの方が見えてきた	37
特に気持ちの変化はなかった	2
その他	0

◆今日の相談はいかがでしたか

	重要	重要でない	どちらでもよい	無記入
相談員が親切	92	0	1	1
相談員が同性	88	3	2	1
安心感	91	0	2	1
託児がある	27	6	43	18
静寂	71	4	17	2
秘密の厳守	89	0	4	1
話を十分に聞いてもらえる	86	2	3	3
必要な情報を得られる	64	3	19	8
人目につかない	74	4	10	6
その他	0	0	0	0

◆ウイングス全体についてお聞かせください

	知っている	知らない	無記入
図書、情報コーナーがあることを知っている	82	12	0
ブックリストがあることを知っている	18	75	1

◆各種セミナーや講座で知っている項目に印をしてください

みんなで考える男女共同参画講座	20
歌声喫茶	17
楽しむ朗読	13
心やわらぐ愛唱歌	7
ゴスペル&ポップス	4
シネマミュージック	5
楽しいコーラス	9
ヨガ	20
リズムウォーク&ボール	4
気功	6

ピラティス	13
フラダンス	8
DV被害者自立支援講座	29
グループ相談会	7

保育事業

全体

	保育実施回数	子どもの人数	保育者の人数
マザーグース	294 回	506 人	633 人
他団体	3 回	21 人	17 人
合計	297 回	527 人	650 人

講座保育

	保育実施回数	子どもの人数	保育者の人数
マザーグース	214 回	415 人	503 人
他団体	3 回	21 人	17 人
合計	217 回	436 人	520 人

一時保育

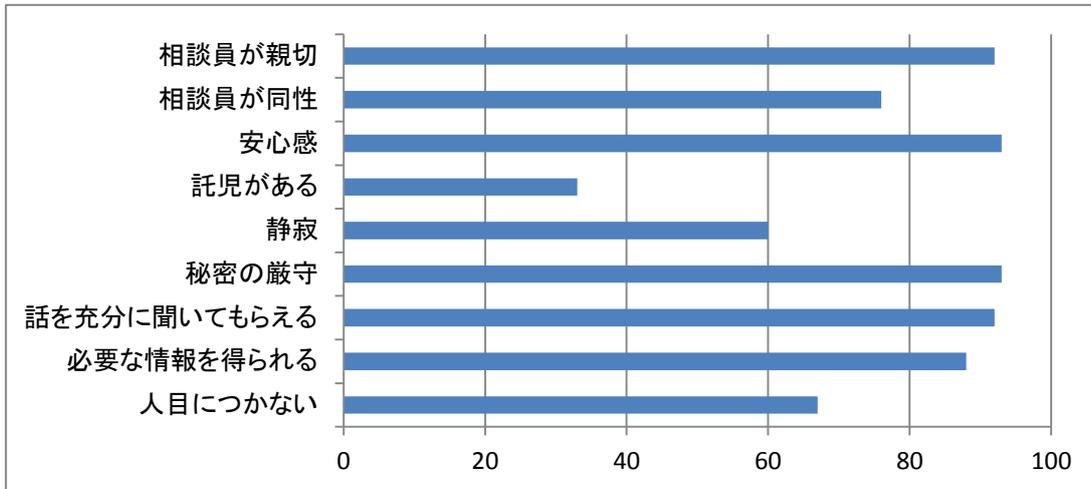
	保育実施回数	子どもの人数	保育者の人数
マザーグース	80 回 (内、相談保育 41 回)	91 人	130 人

ふれあいひろば

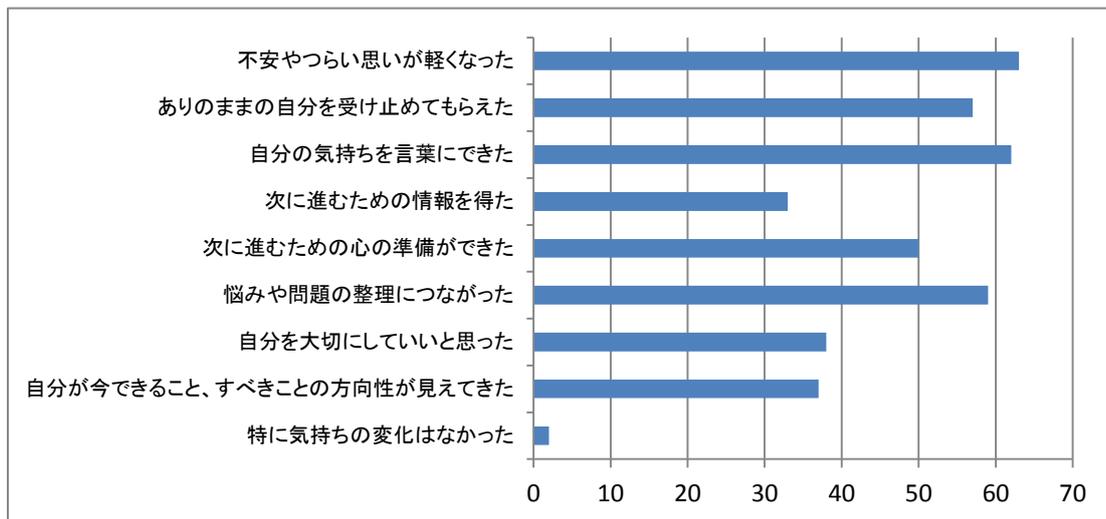
	実施回数	参加者数	
		大人的人数	子どもの人数
マザーグース	12 回	152 人	160 人

平成27年度相談室ご利用アンケート(回答数:94件)

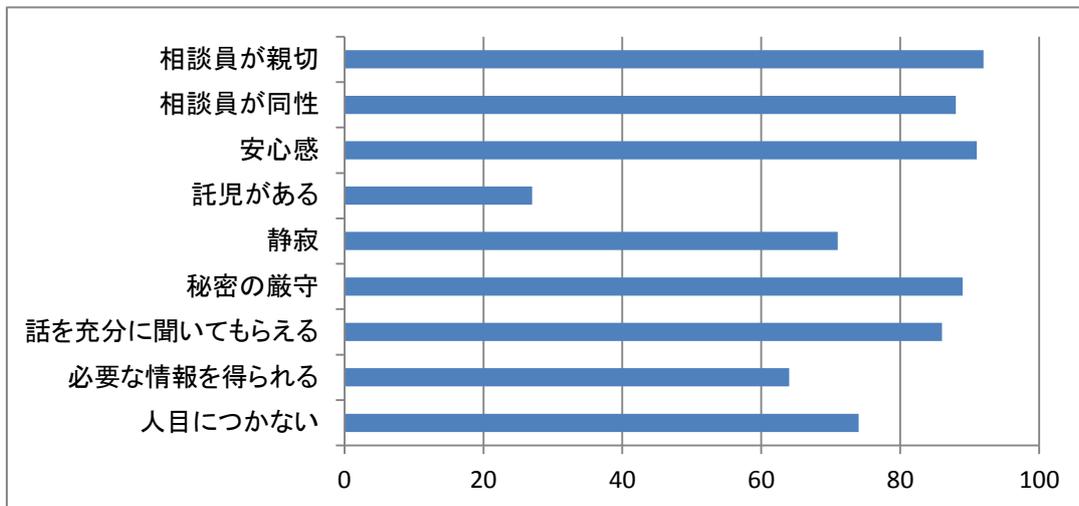
1.ウイングス京都相談室にどのようなことを期待されますか？



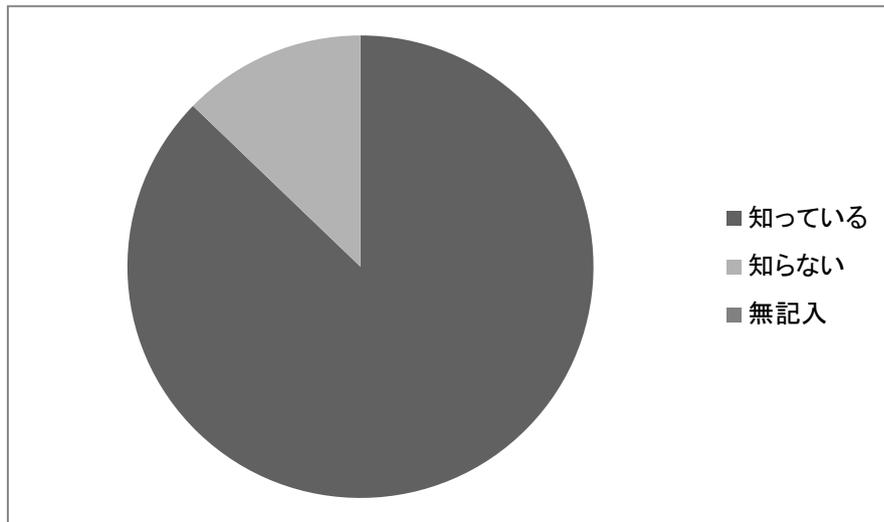
2.今日の相談はどのようにやりましたか？



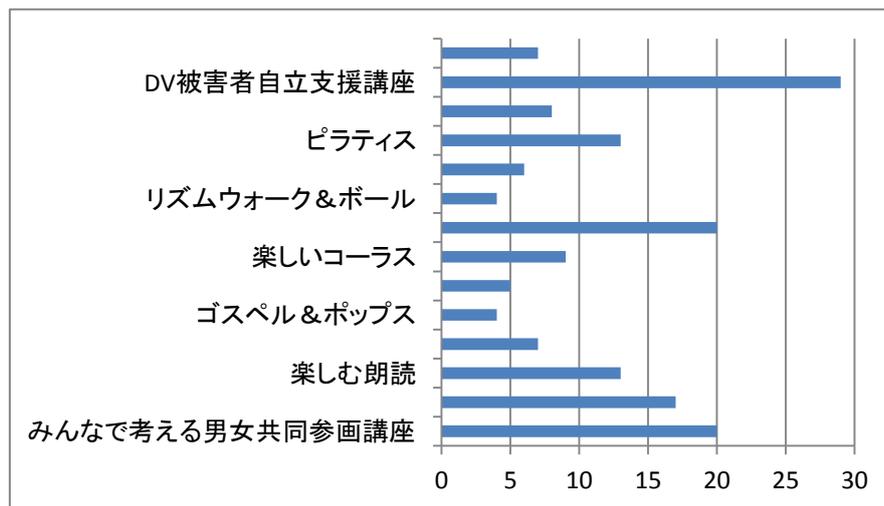
3.今日の相談はいかがでしたか



4. 図書情報室があることを知っていますか？



◆知っているセミナーや講座を教えてください



関連機関連携/苦情・要望等処理制度の受付

ア 女性のための相談ネットワーク会議

実施日	テーマ	参加機関/人数
7月21日	講演「DV家庭で育つ子ども達の現状と対応のあり方」竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都フェミニストカウンセラー) 「男女共同参画の視点での防災支援事業について」京都府男女共同参画センター職員	17機関/26名
2月16日	・事例研究/「スーパーバイズを受けたい困難事例(1事例)」スーパーバイザー 周藤由美子(ウィメンズカウンセリング京都 フェミニストカウンセラー) ・相談件数の報告及び困難事例の対応策/報告機関:ネットワーク会議の構成員のうち運営委員会構成員(4機関)・オブザーバー参加機関(1機関)	21機関/29名

イ 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議実務者会議

7月16日	相談部会 ①実務者会議(各専門部会について)②DVネットワーク京都会議(主催)事業について③平成27年度京都府・市事業について④ DV対策に関わる関係機関・団体の取組(報告)及び意見交換について	33機関/30名
8月7日	相談部会①相談機関連携に関する情報②DV家庭で育った子ども達のピアグループ活動～開始から現状の報告(講演)/啓発部会	15機関/21名

ウ 京都府犯罪被害者支援連絡協議会 性犯罪被害者対策研究分科会

2月18日	事務局の取組状況/発表「性犯罪者被害者支援について」/ディスカッション「性をとるまく現状と性犯罪被害～教育・文化・ICT～」/質疑応答	17機関/20名 警察側11名
-------	---	--------------------

エ 中京相談連絡ネットワーク会議

12月5日	中京警察相談係長(相談受理状況)/生活安全係長(保護の現状)/少年係長(非行問題等)/各機関・団体業務内容紹介/質疑応答	16機関/19名
-------	--	----------

オ 京都市男女共同参画苦情・要望処理制度の受付

苦情項目	相談(ウイングス京都相談室の対応で終了したもの)	申出(問合せ・相談後申出書が提出されたもの)
性別による人権侵害と認められる行為に対する苦情	0	0
男女共同参画に関する施策の苦情	0	0
男女共同参画に影響を与える施策に関する苦情	0	1
問い合わせ	1	0
その他	0	0
計	1	1

<別紙8>

共催・後援事業

	団体名	テーマ	実施日	参加者数 (のべ)
1	映画「何を恐れる」試写 会実行委員会・京都	映画「何を恐れる・フェミニズムを生 きた女たち」試写会	4/9 (木)	175
2	特定非営利活動法人 日本フェミニスト カウンセリング学会	シンポジウム 「性暴力被害者のためのワンストップ 支援センターの現状と課題」 分科会・ワークショップ	5/22 (金) ～24 (日)	450
3	日本女性学会	シンポジウム「スポーツにおける男性 性の解体～〈周辺〉からの試み～」	5/16 (土) 5/17 (日)	127
4	京都アート フリーマーケット 実行委員会	京都アートフリーマーケット 2015 秋	9/19(土)～ 21(月・祝)	-
5	京都女子学園	京都女子大学×日経 ウーマノミクス・プロジェクト 「女性が拓く新しい社会と企業～女性 リーダーに学ぶキャリアデザイン～」	10/17 (土)	-
6	ピンクリボン京都 実行委員会	ピンクリボン京都市民公開講座 「大切なひと、大切な自分のために」	10/17 (土)	113
7	仏画教室	ピンクリボン運動賛同 がん患者・家族・応援者の作品展	10/20 (火)～ 27 (火)	-
8	公益財団法人京都市 ユースサービス協会	思春期のかかわりかた講座	11/22 (日)	33
9	京都府立大学 男女共同参画推進室	女性研究者ロールモデルセミナー特別 企画「キャリアと子育てを両立 するためのマネジメント思考」	11/27 (金)	22
10	一般社団法人 日本住育協会	住育コミュニティ in 京都 2015 「あなたの住まいを一緒に考えよう！ ～家族の絆・社会の絆～」	12/12 (土)	-
11	NPOびーらぶ京都	お互いに心地よいと思える人間関係 を作るために 境界線を学ぶ公開講座	2/6 (土)	40
12	株式会社ウィメンズ カウンセリング京都	ウィメンズカウンセリング京都 20 周 年記念イベント 20 年間のフェミニス トカウンセリング実践～なにができて なにができなかったのか？～	2/11 (木・祝)	92
13	京都アート フリーマーケット 実行委員会	京都アートフリーマーケット 2016 春	3/19(土)～ 21(月・祝)	-

平成27年度「窓口サービス評価・実践制度」の実施結果について<別紙9>

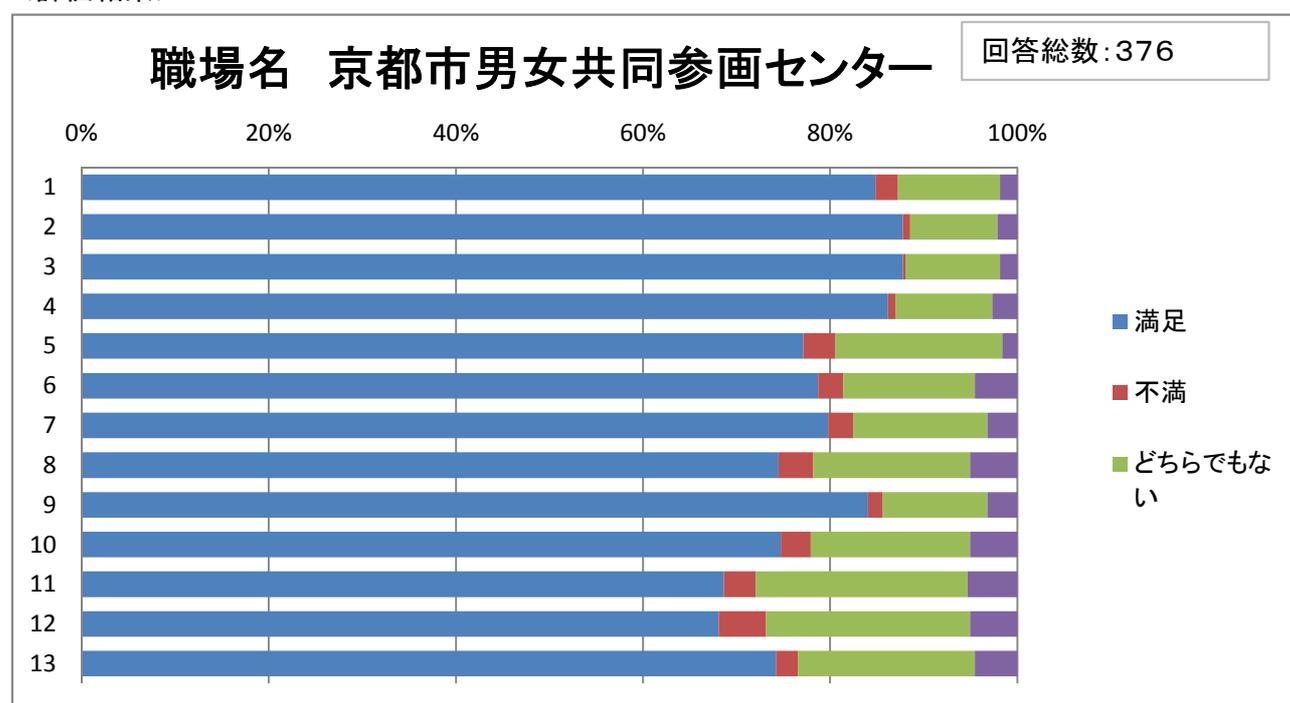
京都市男女共同参画センター

1 窓口アンケートの各職場の評価結果について

<アンケート項目>

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ① あいさつはきちんとできていましたか。 | ⑧ 説明は的確でわかりやすかったですか。 |
| ② 言葉づかいはていねいでしたか。 | ⑨ 整理、整頓は行き届いていましたか。 |
| ③ 服装や髪などは清潔感がありましたか。 | ⑩ 案内表示はわかりやすかったですか。 |
| ④ 服装などは業務にふさわしいものでしたか。 | ⑪ 職員からの声かけはできていましたか。 |
| ⑤ 笑顔など、表情は感じがよかったですか。 | ⑫ 待ち時間はいかがでしたか。 |
| ⑥ 姿勢や態度は、誠実さが感じられましたか。 | ⑬ 雰囲気はいかがでしたか。 |
| ⑦ 説明は親切で、ていねいでしたか。 | |

<評価結果>



2 自由記載欄に記入していただいた主な御意見等

- ・対応に満足している。
- ・あいさつや声かけができてない。もう少し笑顔があると良い。
- ・職員同士の私語が多い。
- ・窓口で待っているのに気付いてもらえない。
- ・人が足りてない時があり、待たされる。
- ・現在の抽選方法に不満がある。
- ・施設の支払いを振込にしてほしい。
- ・民間に比べ、融通がきかない。堅苦しい。対応が遅い。
- ・表示がわかりにくい。
- ・図書情報室の荷物を入れるロッカーの鍵が開けにくい。荷物を預けるのだからきちんとしてほしい。
- ・新書の案内をリーフレットで欲しい。図書ニュースを発行してほしい。
- ・文庫本を増やしてほしい。

中京区民ふれあい祭2015アンケート

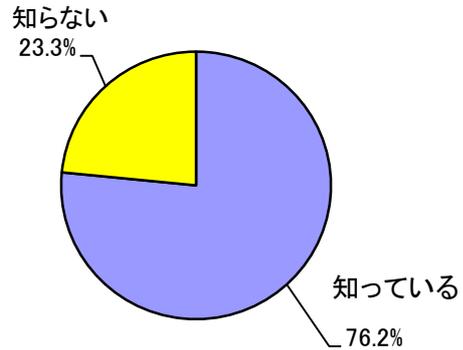
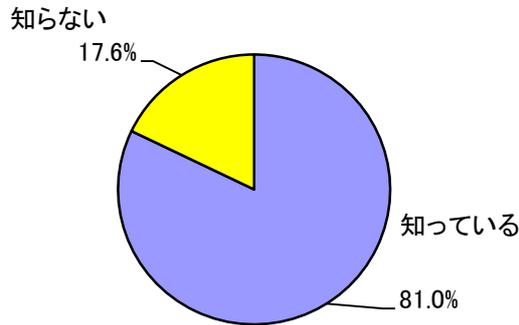
<別紙10>

実施日：2015年10月25日(日)

回収数：210 枚

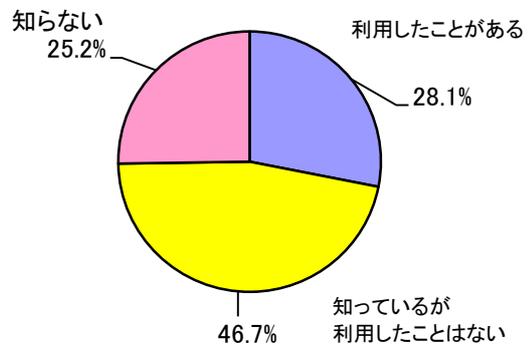
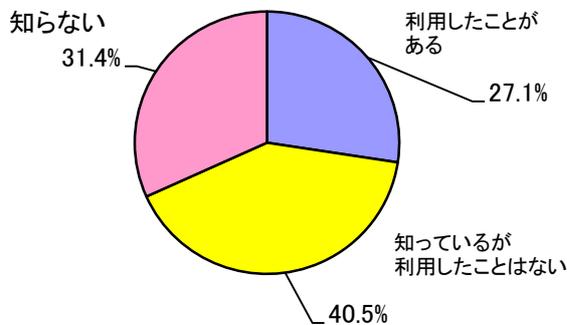
【設問1】「ウイングス京都」をご存知ですか？

【設問2】どこにあるかご存知ですか？



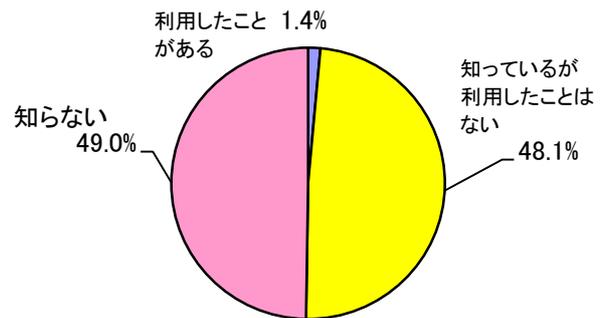
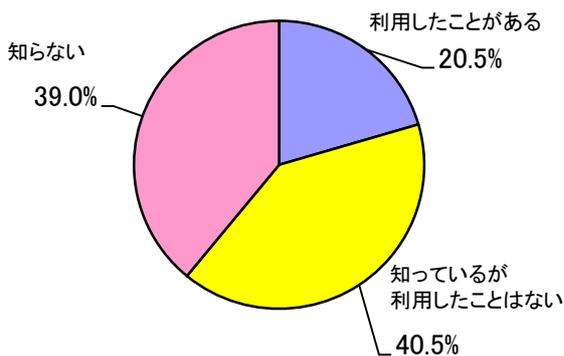
【設問3】会議室やスポーツルームの貸出を知っていますか

【設問4】たくさんの講座やイベントを行っています、知っていますか



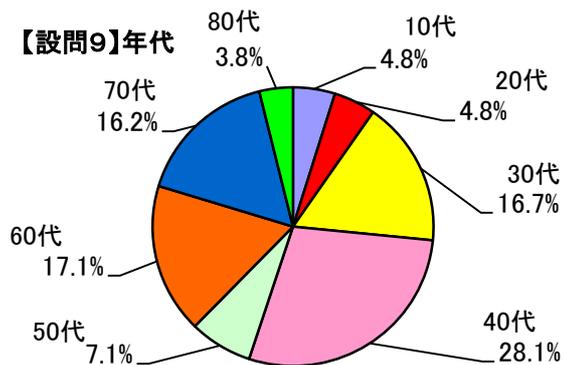
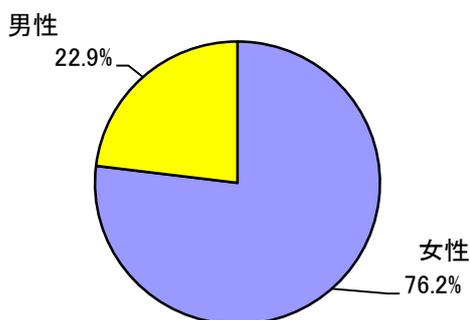
【設問5】図書情報室で図書や雑誌、DVDの貸出、コミックの閲覧などを行っていることを知っていますか

【設問6】さまざまな相談を受けていますが、知っていますか



【設問8】性別

【設問9】年代



<別紙11-2>

平成27年度 京都市男女共同参画センター利用状況(時間帯別)

(単位:%)

	日数使用率※	区分使用率			
		午前	午後	夜間	平均
イベントホール	54.9	37.6	47.7	24.8	36.7
スポーツルーム西	99.4	90.6	75.4	93.9	86.6
スポーツルーム東	97.1	69.4	57.3	87.9	71.6
セミナー室 A	90.6	53.6	79.9	49.6	61.0
セミナー室 B	86.8	47.1	75.6	39.2	54.0
会議室 1	92.2	55.1	86.7	59.2	67.0
会議室 2	93.9	55.4	89.0	55.0	66.5
会議室 3	100.0	92.2	99.0	86.6	92.6
会議室 4	98.1	84.0	96.8	86.2	89.0
会議室 5	98.1	81.8	97.1	80.2	86.4
会議室 6	98.7	82.8	96.5	82.4	87.2
会議室 7	97.7	85.4	95.8	83.5	88.2
会議室 8	97.4	78.9	92.8	74.2	82.0
会議室 9	97.5	78.8	89.0	81.1	83.0
会議室 10	95.8	74.3	91.8	72.7	79.6
会議室 11	92.3	62.1	85.1	61.1	69.4
和室 A	70.2	32.8	62.4	38.3	44.5
和室 B	67.6	32.3	59.8	21.3	37.8
ビデオシアター	85.5	44.9	80.6	23.3	49.6
音楽室	93.3	66.3	81.9	27.7	58.7
調理コーナー	80.4	51.1	75.5	18.1	48.2
フィットネスルーム	93.9	69.9	78.8	82.0	76.9
全室平均使用率	90.1	64.8	81.6	60.4	68.9
入館者総数	489,548 人(一日平均 1,588 人)				
年間開所日数	308 日				

組織体制(平成27年4月時点)

